

## 行政常任委員会

令和 4 年 9 月 2 1 日（水）

午前 9 時 5 7 分開 会

○村田委員長 おはようございます。

定刻より少し時間が早いのですが、ただいまから行政常任委員会を開会いたします。

本日の欠席委員は 2 名でございまして、三鬼和昭委員が所用のため欠席、内山左和子委員が体調不良のため欠席でございます。

それでは、審査に入る前に市長より一言御挨拶がありますので許可をします。

○加藤市長 行政常任委員会の今審査中にもかかわらずちょっとお時間を頂戴しまして、委員の皆様にご報告を 1 件させていただきたいと思っております。

実を言いますと、9 月 2 7 日、安倍元総理の国葬が挙行されますけれども、その案内が三重県市長会にございました。三重県市長会のほうとして、本来であれば会長である鈴鹿市長の末松市長が出席すべきところなんですけれども、やむを得ない事情がございまして、副会長である私が出席するように要請がありまして、9 月 2 7 日、安倍元総理の国葬に三重県市長会の副会長として私が代表して出席をさせていただきますので、その報告を委員の皆様事前に御報告させていただきたいと思っておりますので、その報告を委員の皆様事前に御報告させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○村田委員長 御苦労さんでございました。

市長の今御挨拶がありましたように国葬に参加をされるということが報告をされましたので、よろしく願いをいたします。

それでは、決算審査に入りたいと思いますが、水産農林課から説明をいただきたいと思っております。

○芝山水産農林課長 水産農林課です。よろしく願いいたします。

それでは、議案第 5 1 号、令和 3 年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、当課に関する決算状況につきまして、決算書並びに主要施策の成果及び実績報告書を用いて御説明いたします。

それでは、歳出について御説明いたします。

決算書 2 3 8、2 3 9 ページでございます。通知をいたします。

5 款農林水産業費、1 項農業費でございます。1 目農業委員会費、予算現額 1,062 万 3,000 円に対し、支出済額 1,055 万 7,747 円、不用額は 6 万 5,253 円でございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

1 節報酬は、農業委員会における委員報酬 165 万 4,900 円と、18 節負担金、補助及び交付金は、農業会議負担金 19 万 2,000 円などでございます。

続きまして、2 目農業振興費、予算現額 852 万 3,000 円に対し、支出済額 828 万 2,587 円、不用額は 24 万 413 円でございます。

主な支出は、7 節報償費 249 万 6,000 円は、甘夏農家の地域おこし協力隊 1 名の 12 か月分の報償と、次のページをお願いいたします。

18 節負担金、補助及び交付金、支出済額 546 万 629 円で、これは、補助金の中山間地域等直接支払事業費補助金 221 万 2,789 円、多面的機能支払事業補助金 10 万 7,840 円、尾鷲市地域おこし協力隊活動費補助金 150 万円、農業次世代人材投資事業補助金 150 万円、これは、三木里地区での営農している新規就農者への就農初期段階の 5 年間に対する補助金でございます。

続きまして、下段、3 目でございます。農地費でございます。予算現額 215 万 1,000 円、支出済額 207 万 5,598 円、不用額は 7 万 5,402 円でございます。

主な支出は、10 節需用費 143 万 7,700 円は、雨駄農業用水路擁壁修繕や農道上岡線路側修繕など 13 か所の農道、農業用水路の修繕料でございます。

11 節役務費 58 万 8,898 円は、曾根農道草刈手数料と岡野川用水路など 10 か所の農業用水路の草刈手数料でございます。

次のページをお願いいたします。

続きまして、2 項林業費でございます。1 目林業総務費、予算現額 2,589 万 9,000 円、支出済額 2,530 万 2,671 円で、不用額は 59 万 6,329 円でございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

中段にあります 13 節でございます。使用料及び賃借料 41 万 7,718 円は、林地台帳のデータベースである三重県森林資源情報管理システムの使用料 27 万 7,200 円などでございます。

18 節負担金、補助及び交付金 69 万円は、尾鷲林政推進協議会など林業関係の 7 団体への負担金でございます。

次のページをお願いいたします。

続きまして、2目林業振興費でございます。予算現額5,719万7,000円に対し、支出済額4,993万6,885円で、不用額は726万115円でございます。

主な支出は、7節報償費、支出済額329万2,000円は、有害鳥獣捕獲奨励金としてのニホンザル60頭分、イノシシ45頭分、ニホンジカ271頭分に係る報償でございます。

10節需用費88万7,062円のうち、消耗品は動物駆逐用花火など、修繕料は有害鳥獣パトロール用車両の修繕代などでございます。

12節委託費、支出済額は1,776万1,920円で、不用額は147万1,080円でございます。不用額は、森林経営管理事業における森林管理業務委託料での測量面積が縮小したことに伴う委託料の減額114万1,380円などによるものでございます。

12節委託料の内訳といたしましては、森林環境創造事業委託料110万円は、森林の公益的機能を維持するために環境林として位置づけた森林の間伐などを行い、機能維持を図る事業でございます。県80%、市20%の負担割合で、令和3年度は賀田町の環境林2.92ヘクタールで間伐を実施したものでございます。

その下の森林経営管理事業業務委託料804万5,620円は、森林環境譲与税を原資とした森林調査事業でございます。

その下の流域防災機能強化対策事業業務委託料373万3,400円は、溪流沿いで適正な管理が行われていない民間所有森林において、流木被害や土砂災害を引き起こすおそれのある森林につきまして、所有者と市が協定を結び整備する事業でございます。昨年度は、賀田地区内において2.85ヘクタールの間伐を行ったものでございます。

森林測量管理システム導入業務委託料229万9,000円は、先ほどの森林環境譲与税を原資としました森林経営管理事業の一環の業務委託でございます。GISを用いた新たな測量管理システムを導入するための委託料でございます。

次のページをお願いいたします。

自然体験業務委託料258万3,900円は、海育プログラムの開発を向井小学校の授業の一環として行ったものと、これまで開発をしてきました山育、川育などを市内の幼稚園、小学校の児童・生徒、また、学校の先生方にも体験をしていただいた業務の委託料でございます。

14節工事請負費694万4,300円は、全額尾鷲みどりの基金事業による林道白浜谷線の舗装工事で、183メートルのアスファルト舗装を行ったものでございます。

18節負担金、補助及び交付金2,049万6,300円のうち、尾鷲みどりの基金事業補助金1,821万5,300円は、全額尾鷲みどりの基金事業によるもので、森林組合尾鷲への造林等の補助金でございます。

人家裏危険物木伐採事業補助金121万1,000円は、全額みえ森と緑の県民税によるもので、自治会や区、自主防災会などが行う人家や住民の安全性などを確保するための危険木伐採に対する補助金でございます。伐採経費の8割、50万円を限度といたしまして、昨年度は北浦第4自治会、桜茶屋自治会、須賀利地区の3団体に補助をしたものでございます。

なお、18節の不用額が527万3,700円と多額なのは、尾鷲みどりの基金事業における森林組合尾鷲の補助金の事業計画の変更に伴う減額408万4,700円と尾鷲産材活用促進補助金の残額90万円、人家裏危険物木伐採事業補助金の残額28万9,000円でございます。

続きまして、3目林業開設改良費でございます。予算現額1,638万8,000円に対し、支出済額1,632万6,695円で、不用額は6万1,305円でございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

10節需用費でございます。274万3,491円のうち、修繕料229万971円は、林道八鬼山線路面修繕など8路線の修繕料187万7,400円と、4WD車両に係る修繕料41万6,571円でございます。

14節工事請負費696万9,600円は、一般林道整備事業における林道大根須賀利線アスファルト舗装工事で、延長225メートル分でございます。

続きまして、3項山林事業費でございます。1目管理費、予算現額1億1,746万8,000円に対し、支出済額1億1,693万1,843円で、不用額は53万6,157円でございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

10節需用費でございます。FSC森林管理認証に係る安全対策用消耗品の購入と、作業用トラック、公用車の車検等にかかる修繕が主なものでございます。

12節委託料7,217万200円のうち、森林整備業務委託料5,423万7,700円は、受託造林事業、これは、国の旧公団造林でございますが、受託造林事

業が3,659万8,100円と、ヤフー株式会社様の寄附でのみんなの森整備1,763万9,600円でございます。詳細は、後ほど資料にて御説明をさせていただきます。

主伐搬出委託料130万9,000円、これは、みんなの森に隣接する市有林0.3ヘクタール分の搬出委託料でございます。

森林環境保全直接支援事業業務委託料803万9,900円の内訳は、クチスポ地区7.31ヘクタール、九鬼地区2.98ヘクタールの市有林の下刈り259万6,000円と、早田地区1.36ヘクタール、九鬼地区0.21ヘクタールの市有林の尾鷲ヒノキ9,460本分の植付け料544万3,900円の業務委託料でございます。

次のページをお願いいたします。

みんなの森プロジェクト推進業務委託料660万円は、一般社団法人ネクストコモンズラボへのみんなの森プロジェクトでのディレクション、それから、企業とのマッチング、ヤフー株式会社のふるさと納税寄附申請サポートなどに対する令和3年度下半期分の業務推進委託料でございます。

ガンガゼ除去作業委託料99万3,600円は、みんなの森プロジェクトでのブルーカーボンの取組としての九鬼漁港内でのガンガゼ除去業務委託料でございます。

木づかい空間演出業務委託料99万円は、本市のゼロカーボンシティ宣言で協定を結んでおります九鬼町で海草の陸上養殖を手がけております合同会社シーベジタブル様の企業版ふるさと納税の寄附による木づかい空間演出業務委託料でございます。みんなの森からの間伐材を用いて向井地区の農地で空間演出を行い、木材利用とカーボンニュートラルのワークショップを行った業務の委託となっております。

次に、13節使用料及び賃借料164万6,198円は、市有林管理を行う山林作業員の車の借上料、チェーンソーなどの機械借上料などでございます。

18節負担金、補助及び交付金59万9,900円のうち、FSCグループ認証負担金59万2,900円は、同グループ認証を継続するための負担金でございます。

それでは、森林整備業務委託料5,423万7,700円の内訳につきまして、主要施策の成果及び実績報告書及び資料にて、私有林係千種補佐より説明をいたします。通知をさせていただきます。

○千種水産農林課長補佐兼係長      それでは、森林整備業務委託料のうち、まず、受託造林管理事業について御説明いたします。

事業目的としましては、水源地域において、水源涵養や土砂流出崩壊防止として森林を再生し、緑のダムとしての機能の確保をしていくものであります。

事業の内容としましては、国道425号線の奈良県との県境付近にある川原木屋地区で保育間伐約64ヘクタールと森林作業道設計4,925メートルと森林作業道開設702メートルを行いました。事業量合計額は3,759万1,000円で、全額受託造林事業収入によるものとなっております。

続きまして、みんなの森プロジェクトでの森林整備業務委託料の内容につきましては、先日の追加議案で用いました資料にて御説明させていただきます。資料を通知します。

資料左手の緑の枠を御覧ください。

生物多様性・環境教育ゾーンにおいて、ヤフー株式会社様からの寄附により、昨年度は森林作業道開設820メートルと群状間伐1.30ヘクタールを行いました。

続きまして、資料右手の緑の枠を御覧ください。

自然体験・森林ふれあいゾーンにおいて、森林作業道開設900メートルと利用間伐3ヘクタールの森林整備を行いました。

みんなの森プロジェクトにおける森林整備業務委託料1,763万9,600円で、全額ヤフー株式会社様からの寄附によるものとなっております。

以上です。

○丸茂水産農林課調整監 決算書256ページ、257ページにお戻りください。通知いたします。

4項水産業費につきましては、私から御説明させていただきます。

1目水産業総務費は全て職員人件費でございますので、割愛させていただきます。次のページをお願いします。

2目水産振興費、予算現額1,368万6,000円に対し、支出済額1,182万5,024円で、不用額は186万976円でございます。

2目水産振興費での事業は、尾鷲ヒノキ製アオリイカ産卵床事業、漁業後継者対策事業、藻場再生などの水産多面的機能発揮対策事業、ヒロメ、マガキなどの藻類・二枚貝養殖普及事業、料理教室などの水産物普及啓発事業が主な事業で、10節需用費に係るものは、これら事業における消耗品、車両燃料費、修繕費でございます。

11節役務費39万2,674円は、主に漁獲量調査手数料19万2,000円、これは、市内の漁獲量を外湾漁協に調査していただいている手数料と、間伐材運搬

等手数料9万9,000円は、アオリイカ産卵床用のヒノキ材の運搬手数料でございます。

次のページをお願いします。

12節委託料53万8,000円は、ガラモ植生調査委託料44万円と尾鷲市漁業体験教室業務委託料9万8,000円でございます。ガラモ植生調査委託料は、隔年で受託研究依頼をしている尾鷲湾と賀田湾の藻場造成の経年の追跡調査委託でございます。尾鷲市漁業体験教室は、コロナ禍でも個別に2名を受け入れました。

13節使用料及び賃借料66万4,890円のうち、船舶借上料46万9,650円は、尾鷲湾と賀田湾の養殖場の毎月の水質検査のための船舶借上料、尾鷲ヒノキ製アオリイカ産卵床事業での備船代でございます。

18節負担金、補助及び交付金、支出済額は950万4,077円で、不用額79万923円は、漁業共済事業負担金における赤潮特約事業の負担が当初見込みを下回ったことなどによるものでございます。

支出済額のうち、主な支出は負担金として、カサゴ放流事業負担金53万円は、カサゴ稚魚1万尾の放流、特定海域展開事業負担金157万5,000円は、ヒラメ種苗3万7,500尾の放流、地域展開促進事業負担金48万3,000円は、マダイ放流5万尾の負担金、資源回復計画促進事業負担金49万6,000円は、トラフグ放流1万5,500尾に対する負担金でございます。

次のページをお願いします。

漁業共済事業負担金275万9,045円は、漁業者の漁業災害補償法に基づく共済制度で、赤潮特約事業について、該当する掛金の9分の6を国が負担し、9分の2を県、9分の1を市が負担するものでございます。

水産多面的機能発揮対策事業負担金44万4,000円は、尾鷲、九鬼、早田、三木浦で行っております藻場再生事業におけるガンガゼ除去などの活動に対する負担金でございます。

補助金につきまして、漁業設備更新事業補助金193万6,000円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したコロナ禍を乗り越え、水揚げ量の増大や機能の充実に努めることを目的とした尾鷲魚市場の水揚げ時に使用するベルトコンベヤーの整備に対する約2分の1の補助でございます。そのほかは例年と同じ各種団体事業に対するものでございますが、コロナ禍の影響により、イベント開催や先進地視察等、例年どおりの活動ができていないもので、金額はその分を差し引いた額となっております。

しかしながら、コロナ禍でも可能な水産物のPRのための取組を各種団体と連携し推進いたしました。例えば、昨年、特に力を入れた尾鷲マハタにつきましては、商工会議所女性部が主催したFish-1グランプリ尾鷲予選へのマハタの提供など、尾鷲市海面養殖振興協議会が協力し、その後、三重県漁連などと連携し、全漁連が主催するFish-1グランプリへ尾鷲マハタ丼を出品し、準グランプリを受賞しました。

また、尾鷲の春ブリのPRの一環として、鈴鹿短大の学生によるレシピ考案も兼ねた調理実習へブリの提供など、産地協議会が協力しました。

以上でございます。

○芝山水産農林課長 続きまして、3目漁港管理費を御説明させていただきます。

予算現額616万2,000円に対し、支出済額353万6,577円で、不用額は262万5,423円でございます。

主な支出は、10節需用費は、行野浦漁港での舗装修繕や認識灯の修繕など、市が管理をする漁港施設に係る修繕料104万9,400円でございます。

次のページをお願いいたします。

12節委託料のうち、整備点検業務委託料149万6,000円は、市が管理をする漁港防潮扉の法定点検業務委託でございます。不用額215万3,580円につきましては、例年、県補助金として割当てをいただいております台風などの際に漁港に漂着した流木などの漂着物処分の委託料202万円が令和3年度は不要であったことから、県に返還するための不用額でございます。

続きまして、4目漁港建設費、予算現額4,214万8,000円に対し、執行済額2,594万9,482円、繰越明許費1,579万6,000円、不用額は40万2,518円でございます。

繰越明許費の1,579万6,000円は、水産基盤ストックマネジメント事業における九鬼漁港の係留突堤の測量調査における調査差金でございます。国、県の助言を踏まえまして、事業効果の早期発現を図るため、その調査差金を令和3年度の委託料、工事請負費に補正追加をさせていただき、それを令和4年度に繰越したものでございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

12節委託料でございます。1,440万4,500円は、先ほどの水産基盤ストックマネジメント事業による九鬼漁港機能保全工事に伴う測量設計業務委託料でございます。繰越明許費300万円は、委託料として繰り越すものでございます。

14節工事請負費は、支出済額303万2,700円。これは、県単漁港改良事業での大曾根浦漁港西網干場舗装工事でございます。繰越明許費1,279万6,000円は、先ほどのストックマネジメント事業での九鬼漁港駅前護岸保全に係る工事請負費として繰越したものでございます。不用額は6万7,300円でございます。

それでは、水産基盤ストックマネジメント事業の詳細を主要施策の成果及び実績報告書にて、基盤整備係内山主幹から説明をさせていただきます。通知をいたします。

○内山水産農林課主幹兼係長　それでは、実績報告書79ページについて説明させていただきます。

事業名、水産基盤ストックマネジメント事業。事業の内容は、九鬼漁港の測量調査、設計業務になります。機能保全計画に基づいて行う九鬼漁港の機能保全工事のための委託業務となっております。事業費は1,456万8,246円で、このうち、九鬼漁港機能保全工事に伴う測量調査設計業務委託にかかる費用は1,440万4,500円。その財源内訳は、県支出金720万2,000円、その他特定財源720万円、一般財源16万6,246円、補助率は水産物供給基盤機能保全事業費補助金の50%です。

なお、繰越しました九鬼漁港の駅前岸壁保全工事については、現在順調に施工が進んでおります。

以上でございます。

○芝山水産農林課長　それでは、決算書にお戻りください。

ずっと後ろのページに飛びまして、354ページ、355ページをお願いいたします。通知します。

10款でございます。災害復旧費、1項農林水産業費施設災害復旧費、1目現年発生農林水産業施設災害復旧費でございます。予算現額200万円に対し、支出済額17万8,200円、不用額は182万1,800円でございます。

支出の内訳は、10節需用費17万8,200円は、大雨による農道北浦水地線の土砂撤去でございます。

以上で、水産農林課に係る決算説明を終わらせていただきます。よろしく御審議を賜り御承認くださいますようお願いいたします。

○村田委員長　決算に係る水産農林課の説明が終わりました。

この説明につきまして、御質疑、御意見がございましたら御発言願いたいと思ひ

ますが。

○南委員 実績表の75ページの種苗放流事業なんですけれども、よろしいですか。平成10年度から開始されて二十四、五年経過するんですけれども、カサゴ、ヒラメ、マダイ、トラフグということで、毎年4種放流されておるんですけれども、やはり根つきする、カサゴについてはある程度は理解できるんですけれども、ヒラメもそうかなと。特にトラフグなんかは、尾鷲漁協なんかは水揚げされていないんですよね、ほとんど。そういった面で放流事業の検証というのはやってみえるんですか。

○丸茂水産農林課調整監 放流の効果の検証についてなんですけれども、なかなか検証というのは難しいと思うんですけれども、水産振興事業団が一応毎年マダイとヒラメについては、漁獲物のどのくらいの割合で放流したものが漁獲されているかという調査はしているようで、年によってばらつきはあるんですけれども、大体3%から10%ぐらいは放流したものが漁獲されているんじゃないかという報告書があります。なので、一応一定程度のマダイとヒラメについては効果があるということです。また、カサゴについてはそういった調査はないんですけれども、おっしゃるように一般的に定着性のある魚だということなんですけれども、トラフグについてはなかなかそういった調査がなかったんですけれども、ただ、水産振興事業団でどういった魚を放流するだとかというのは、資源評価とか資源を調査したりだとか、あと、漁業者のニーズというのを聞き取った上で総合的に判断して決めているので、必要がないと判断されればもちろん放流もなくなりますし、実際、昨年、令和3年は、尾鷲市は放流しなかったんですけれども、ヨシエビやナマコなんかは放流がなくなりました。そのように効果がないとか要望がないということが分かれば放流はなくなります。

以上です。

○南委員 ヒラメ、マダイと言ったね、今、調整監から、大体3%から10%の漁獲になるんじゃないかということなんですけれども、古江の種苗センターはアワビなんかはかなり栽培されていると思うんですけれども、アワビ放流は、種苗の放流は過去にも行ってないんですか。予算的には出ていないんですけれど。

それと関連して、アオリイカの産卵床ですか、これは少ない予算で結構、僕も効果があると思うんですが、アオリイカの産卵床については。そういった事業もどんどん僕はもっと予算をつけて増やしていてもいいんじゃないかなというような思いがしますので、もしよければその効果について……。

○内山水産農林課主幹兼係長　　アワビの放流ですが、本当に過去に、平成の初期に記録として放流したという実績があります。そして、地区で希望されてアワビの種苗放流をされている地区もございましたが、今現在はアワビの放流はしておりません。

アオリイカの産卵床については、毎年産卵状況の調査を行っていますので、100万ぐらいの卵が大体安定して確認できていますので、継続していきたいと思っております。

以上です。

○南委員　　アオリイカの産卵床について、子供たちと一緒にやってつくって運営しているということで、海育の大きな一つの海になじんでいくということなんですけれども、ぜひともこれからもどんどん、もっと僕は予算をつけていってもいいんじゃないかなと思いますので、ぜひともよろしく願いをいたします。

以上です。

○村田委員長　　他にございませんか。

○仲委員　　決算書の水産振興費、258ページの関連する、実績報告書では76ページ、漁業後継者対策事業でございますが、これは定置関係の後継者ということの目的も含まれていると思うんですけど、九鬼、早田、梶賀のブリ大敷については、尾鷲の漁業にとっては貴重な漁業ということで、持続可能な考え方をしていかなあかんと思うんですけど、今現在、そろそろ定置の入れる時期が、準備が始まると思うんですけど、この定置の乗組員というのは、各大型定置でも充足はしていますか。

○内山水産農林課主幹兼係長　　定置の乗組員ですが、地区によっては少し9月に全員充足できていない状況もあって、募集をかけられていることは新聞等でも御存じかもしれないですけども、募集をかけているところは実際ございます。

○仲委員　　市も乗組員等については関心を持った上で、各漁業組合というか、定置組合等の職員のほうもあると思うんですけど、今後さらなる接触を深めて相談に乗るような関係をぜひつくっていただきたいと思うんですわ。

それで、もう一点は、その下にもうかる漁業の創設支援事業というのがあるんですけど、早田が4期目で実施しておるという中で、これは直の予算ではないように思うんですけど、これ以外の新たなもうかる漁業に対しての取組というのが報告できればお聞きしたいんですけど。

○芝山水産農林課長　　まず、先ほどの後継者育成に関連いたしまして、定置網等への行政の積極的な関わりという点についてでございますが、私どもも尾鷲の漁業

におきまして、定置網漁業、それから養殖というもの、これが2本柱として捉えておりまして、何としてもこれを維持発展させていきたいと。

後継者育成につきましては、尾鷲市では平成11年から漁業体験教室というのをずっと継続して行っております。それを三重県や農林水産支援センターや漁連とも連携をして、まずは経験をする、それから知識を深めていくというような仕組みをしっかりとつくっております。それは、尾鷲市の漁業体験教室の3泊4日という短い体験から、あとは担い手確保の事業につなげたり、早田での漁師塾4週間の体験につなげたり、さらには6か月以上の長期研修につなげていくと。こういうような仕組みでだんだんだんだん経験をしやすく、最初の入口からどんどんどんどん充実をさせていくというような支援体制はすごくモデルになるほどいい取組にはなっているというふうに考えておりまして、その成果も各定置では出てきているというふうに考えております。

一方で、コロナ禍によるこの3年間の取組といたしましては、体験教室という一斉に募集をするようなスタイルは実行できていないのですが、毎年毎年個別の受入れ、感染対策をしっかりとした上で個別の受入れは継続をしておりまして、今後もコロナの状況を見ながら、ここについては切らさずしっかりと取り組んでまいりたいというふうに考えております。

それと、もうかる漁業につきましては、担当のほうから少し説明させていただきます。

○竹内水産農林課係長　早田のもうかる漁業のほうなんですけれども、もう昨年度期で終了になりまして、今、実績報告のために取りまとめをしているところでございます。早田はもうかる漁業で新船の更新を行ったんですけれども、ほかの地域については、また違った事業を今検討というか、もう申請採択されまして、大型船への改革をこの漁期からすると聞いておりますので、大変期待しているところであります。

○村田委員長　よろしいですか。他にございませんか。

○中村委員　61ページ、施策実績報告書のイノシシが豚熱によって個体数が減少していると書いていただいているんですけれども、これはちなみに何年間でどれぐらいの推移があったのか教えていただけますか。

○芝山水産農林課長　豚熱、2年前から岐阜のほうから発生をしてどんどんどんどん南下をしてきているという状況でございまして、ただ、幸いというか、尾鷲市内での捕獲頭数というのは3頭程度という報告でございまして、豚熱の調査を三重県

がしております。毎年毎年調査をして、そこで血液採取をしまして、血液の結果、豚熱に感染しているかどうかというのを猟友会の皆様をお願いをして血液採取のデータ取りを三重県がずっとしているんですけども、その結果、尾鷲のほうで発生が確認されているのは3頭だけでございます。

ただ、猟友会の皆さん方に話を聞きますと、やっぱりイノシシが死んでいる、死骸はたくさん見受けられるということで、その辺りの影響で、これは全国的に豚熱が発生しているエリア全部なんですけれども、イノシシの捕獲頭数というのは減っているというところから、本市においても例年と少なかったというところはその影響が出ているのではないかなというような推測をさせてもらっているところです。

○中村委員　　ということは、今年度は45頭分の3頭が豚熱にかかっているというのが分かったと今理解したんですけども、2年以前はもっと捕獲数が、例えば90頭とか、すごく多かったんですか。

○芝山水産農林課長　　すみません。今、私の説明、ちょっとまずかったかも分かりませんが、45頭分の3ではなくて、またこれは別で、血液採取は別でしておりました、その結果、豚熱に感染しているというのが3頭いたという。この45頭というのは、猟友会の皆さんが生きているイノシシを捕獲してくれたというもので、この45頭とはまた別に3頭の豚熱が発生しているという報告があったというものでございます。

○竹内水産農林課係長　　すみません。御質問のイノシシの捕獲なんですけど、今手持ちの資料で、令和元年度135、令和2年度143となっております。

以上です。

○村田委員長　　よろしいですか。

他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村田委員長　　ないようでありますので、水産農林課の審査を終わります。10分間休憩します。

(休憩 午前10時40分)

(再開 午前10時49分)

○村田委員長　　再開いたします。

それでは、次に商工観光課、よろしくお願ひいたします。

○森本商工観光課長　　商工観光課でございます。よろしくお願ひいたします。

議案第51号、令和3年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、商工観光課に関する決算状況につきまして、決算書を基に主要施策の成果及び実績報告書も併せて御説明申し上げます。

それでは、決算書の266ページ、267ページを御覧ください。

5款農林水産業費、4項水産業費、5目海洋深層水事業費でございます。予算現額1,431万1,000円に対し、支出済額は1,361万9,869円で、不用額は69万1,131円でございます。

支出済額の主なものとしまして、10節需用費は、支出済額596万9,374円で、光熱水費276万2,961円は、アクアステーションにおける電気代等でございます。

12節委託料は、支出済額691万4,840円でございます。

次ページのほうを御覧ください。

主なものとして、取水した海洋深層水に係る水質検査委託料176万円、海洋深層水分水に係る海洋深層水施設機器保守点検業務委託料462万円でございます。

内容につきまして、担当課長補佐のほうから御説明申し上げます。

○柳田商工観光課長補佐兼係長      それでは、説明いたします。通知いたします。

主要施策の成果及び実績報告書80ページを御覧ください。

海洋深層水事業は、尾鷲海底谷より海洋深層水を取水しており、3大特性を活用し、水産業の振興を進めるとともに、その他利用の事業者等の開拓を行い、地域経済の活性化を図ることを目的としております。

令和3年度の主な事業内容でございますが、利活用推進といたしまして、お客様と海洋深層水との距離をより近くするために通信販売事業の組立てを実施し、3月にはテスト販売を実施いたしました。

また、市内事業者様に定期的に分水できる仕組みを構築するため、企業分水モニタリング事業を行い、その趣旨に御賛同いただき、今年度から定期的に企業利用していただくことができました。

また、取水施設であるアクアステーションに関しましては、適正な運営管理を行うとともに、昨年度には送水ポンプのオーバーホールを実施し、安定して海洋深層水を分水することができました。

全体事業費といたしましては1,362万円。財源内訳は、その他の特定財源として深層水の使用料218万2,000円などで、一般財源は1,131万1,000円となっております。

以上です。

○森本商工観光課長 決算書の268ページ、269ページのほうへお戻りください。

6款商工費、1項商工費、1目商工総務費につきましては人件費でございますので、説明のほうを割愛させていただきます。

次ページを御覧ください。

2目商工振興費でございます。予算現額2億4,785万円に対し、支出済額は2億2,469万8,862円で、不用額は2,315万1,138円でございます。

支出済額の主なものとしましては、12節委託料、支出済額2億233万7,000円。商品券発行事業業務委託料で、事業内容といたしましては、尾鷲市地域振興券及び尾鷲市プレミアム付商品券発行事業でございます。

本事業は、地方創生臨時交付金を活用しまして、コロナ禍により影響を受けた市内経済の活性化を促すことを目的に商品券の発行する業務委託料でございます。不用額は1,744万円で購入見込みを下回ったこと、換金されていないことが発生したものが原因でございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額1,764万9,457円です。

内容としまして、次ページのほうを御覧ください。

補助金といたしまして、尾鷲商工会議所及び中小企業相談所補助金360万円や、最下段にございます地方創生臨時交付金を活用した尾鷲市地域経済応援支援金660万3,174円、次ページのほうを御覧ください。尾鷲市酒類販売事業者等支援金160万円、尾鷲市地域経済応援支援金10月分125万円でございます。

なお、不用額465万7,543円に関しましては、尾鷲市地域経済応援支援金8月、9月及び10月分におきまして、当初予定より申請件数が少なく、予算額に対し424万6,826円歳出が少なかったのが原因でございます。

内容につきまして、担当のほうから御説明申し上げます。

○柳田商工観光課長補佐兼係長 それでは、説明いたします。通知いたします。

主要施策の成果及び実績報告書81ページを御覧ください。

商工振興事業につきましては、尾鷲商工会議所などと連携し、企業経営の強化支援や経営支援などを行い、地域経済の活性化を図ることを目的としております。

事業としては、保証料補給や利子補給の交付やセーフティネットの認定作業を進めるなど、地域企業の安定的な経営への支援を実施するとともに、地方創生臨時交付金を活用して全市民に1万円の商品券を交付した尾鷲市地域振興券事業、プレ

ミアム率20%の尾鷲市プレミアム付商品券事業、また、事業者等への支援といたしましては、尾鷲よいこスタンプ会補助金、尾鷲市地域経済応援支援金などを交付いたしましたところです。これらの事業の実施により、コロナ禍に柔軟に対応した事業を実施することで、事業者の経営安定や企業経営支援を実施することができました。

全体事業費といたしましては、2億2,238万7,000円。財源内訳は、その他の特定財源として地方創生臨時交付金2億91万8,000円等で、一般財源は2,141万2,000円でございます。

次に、産業開発促進事業を説明いたします。次ページを御覧ください。

産業開発促進事業は、市内事業者の皆さんや関係団体と連携して産業開発を促進し、新商品の開発などを実施することで業界の発展や地域産品の情報発信に努めるとともに、消費者へのPRやマーケティング調査を実施し、地域経済の活性化を図ることを目的に事業を推進しているところです。

昨年度に関しましては、本市、尾鷲商工会議所、紀北信用金庫が連携し、多様な主体により販路拡大に向けた事業を進めておりました。販路開拓におきましては、三重テラスなどで物産展を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となってしまいました。一方で、オンラインでは商品の個別相談や商談などを実施するとともに、本市へ専門家を招聘しアドバイスをいただくなどの事業を実施するなど、最終的にはスーパーマーケット・トレードショーに出展し、販路開拓が行われたものでございます。

全体事業費としては231万2,000円。財源内訳は、地方創生推進交付金100万6,000円、一般財源は130万6,000円となっております。

説明は以上です。

○森本商工観光課長 決算書の274ページ、275ページへお戻りください。

次に、3目観光費でございます。予算現額5,371万6,000円に対し、支出済額は4,456万8,949円で、不用額は914万7,051円でございます。

支出済額の主なものとしまして、7節報償費405万円は、地方創生臨時交付金を活用し、県が実施するみえ安心おもてなし施設認証制度の普及促進を図るための本市への集客交流人口の増加を目指し、尾鷲市あんしんみえエリア取得推進応援金のほうでございます。

なお、不用額595万円につきましては、予算額として最大認証取得数を計上いたしましたが、その見込みを下回ったことが要因でございます。

10節需用費におきましては、支出済額638万8,704円で、主に観光トイレ中16か所及び光熱水費171万2,296円、夢古道おわせ観光トイレの修繕料382万6,842円でございます。

11節役務費は、支出済額432万3,488円で、主には観光トイレ等の浄化槽保守点検等手数料331万7,900円でございます。

12節委託料は、支出済額1,176万7,495円で、主に観光トイレ管理業務委託料123万6,998円及び次ページを御覧いただきまして、夢古道おわせ指定管理934万4,000円でございます。

14節工事請負費は、支出済額388万8,500円で、夢古道の湯脱衣室系統空調設備改修工事229万9,000円及び三木里の野鳥の小径看板設置工事158万9,500円でございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額1,397万6,162円で、主なものとしましては、次ページのほうを御覧いただきまして、東紀州地域振興公社負担金280万円。こちらのほうは、国の地方創生推進交付金を活用しまして、東紀州地域振興公社を中心として5市町が連携し、観光客の誘客等を進めるための観光DMの取組に係る負担金でございます。

補助金では主なものとしまして、尾鷲観光物産協会補助金970万3,438円でございます。

なお、不用額113万7,838円につきましては、コロナ禍により事業計画どおり実施できなかった尾鷲節保存会補助金、尾鷲磯釣り大会補助金、尾鷲節コンクール補助金の精算によるもの、また、学校宿泊促進事業補助金が見込みより稼働しなかったことにより生じたものでございます。

内容につきましては、係長から御説明申し上げます。

○世古商工観光課係長　それでは、説明いたします。通知いたします。

主要施策の成果及び実績報告書83ページを御覧ください。

観光費に係る観光振興事業、熊野古道活用事業、観光施設管理整備事業の三つにつきまして、主要施策の成果及び実績報告書により説明させていただきます。

観光振興事業につきましては、地域資源を活用しながら観光施設や町なかでの交流人口の増加と地域活性化を図ることを目的に関係団体と連携して事業を推進しております。

事業内容といたしましては、三重県観光連盟など関係団体へ負担金を支出するとともに、尾鷲観光物産協会などの団体や尾鷲磯釣り大会などのイベントへ補助金を

交付しております。

事業成果といたしましては、三重県が実施するみえ安心おもてなし施設認証制度の認証取得を推進するため、1件当たり5万円の応援金を支給し、観光事業者39件、飲食事業者42件、合計81件の認証取得につながりました。

尾鷲磯釣り大会については、コロナ禍により1か月ほど早く中止となりましたが、大会期間中に約1,100名の方に参加いただきました。

また、旅マエにおけるPRのため、365日連続で熊野古道馬越峠に関連する投稿を開始しております。事業の開始から9月1日時点でのインスタグラムで442人のフォロワー数の増加があったことを御報告いたします。

事業費については、1,885万8,000円でございます。

次に、熊野古道活用事業について御説明いたします。

84ページを御覧ください。

熊野古道活用事業につきましては、世界遺産熊野古道を活用したウォーキング大会の実施やおわせふるさとガイドの活動支援などを行い、熊野古道客の町なかでの滞留による交流人口の増加とそれに伴う地域経済の活性化を図ることを目的としております。

事業内容といたしましては、熊野古道客をはじめとする来訪者に観光案内を行うおわせふるさとガイドの活動支援でございます。

事業成果といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、おわせ海・山ツデーウォークは中止となりましたが、おわせふるさとガイドによる土日祝日のガイド、観光案内など、熊野古道客の滞在時間の拡大や満足度の向上を図りました。新型コロナウイルスの影響により活動期間は約1か月となりましたが、この機会を活用し、ガイドのスキルアップ研修会の開催や地域おこし協力隊への講演を行いました。

事業費は9万2,000円でございます。

続きまして、観光施設管理整備事業について御説明いたします。

85ページを御覧ください。

観光施設管理整備事業につきましては、来訪者の方々に憩いの場を提供するため、観光受入れ施設の充実を図ることで観光施設や町なかでの滞留による交流人口の増加と地域経済の活性化を図ることを目的としております。

事業内容といたしましては、夢古道おわせの指定管理者制度による適正な管理運営、設備機器等の修繕、市内観光トイレや公園等の維持管理を行っております。

事業成果といたしましては、夢古道おわせの老朽化した脱衣場の空調設備を改修いたしました。

事業費につきましては、2,561万9,000円でございます。

説明は以上でございます。

○森本商工観光課長 以上で、商工観光課に関する決算の説明とさせていただきます。御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

○村田委員長 議案第51号に係る商工観光課の予算と決算について説明がございました。

この説明について、御質疑ある方の御発言を願いたいと思いますが。

○南委員 海洋深層水事業なんですけれども、268ですか、ページ数で。事業施策でいくと80ページで、商工会議所から直営でアクアステーションを運営するというので、幾分かは軽減されたのかなというような感じがするんですけれども、以前から問題になっておりましたLDビバレッジさんの問題というのは三、四年経過するのかなということで、その後全く進展がないように見受けられるんですけれども、LDビバレッジさんとのその後の経緯と経過というんですか、その報告を求めたいのと、それと、例えばLGビバレッジの背後地ってあるんですよ、まだ、用地的には。そういったLDビバレッジさんが利用されないのであれば違った企業を誘致してもいいんじゃないかというような声もやや聞こえてきていますので、そういった対策も踏まえて、答えられる範囲でお答えをいただきたいと思います。

○柳田商工観光課長補佐兼係長 それでは、御質問いただきましたライフドリンクカンパニー様とのこれまでの経過についてお話しさせていただきます。

私ども商工観光課として、ライフドリンクカンパニーの利用が止まってから幾度となく協議調整のほうを行ってまいりました。私どもが担当になってからでも大体年に2回ほど現地に赴く、もしくは、コロナ禍の際にはZoom等で協議をさせていただいて、先方さんは代表取締役社長が御対応いただく中で、市として、やはりあそこの産業、尾鷲市としての産業の推進の方法であるとか深層水の重要性を鑑みて、ぜひ早急に工場のラインを修理して商品を作っていただきたいという願いをずっとしてきているような状況です。

それに対して、一応LDCからの、ライフドリンクカンパニー様からの御回答としては、この件に関しては当然重要な案件と考えておると。とはいうものの、やはり工事改修するに当たっては相当な費用がかかってくるというところで、今後の協議の課題として捉えさせていただきたいというようなお答えをいただいております。

ですので、私どもも切れ目なくライフドリンクカンパニー様のほうと協議調整、こちらからの要望、また、新たに何らかの事業を起こす際には、何らかの地域貢献を含めてお願いできないかなど、協議を進めてまいりたいと考えております。

また、背後地の件に関してなんですけれども、現在のところですが、以前のように工業団地を造るというようなところまで、正直まだ今のところ検討はしておりません。一方で、アクアステーションの隣地にございます水産農林課が持っているところに関しては、今、プロポーザルにおいて事業のほうを進めております。また、海洋深層水を御利用したいという事業者様も一定おみえになることは私どもも分かっておりますので、そういったところと連携して何らかの事業を進めていければということは考えております。

以上です。

○南委員　　ドリンクカンパニーのほうは年2回役員さんとお話をされているということなんですけれども、結果が見えていないですよ、全く。何か見通しがほしいなと思って。かといって送水管に基本料金をかけるような遡及した条例もつくることできないということで、市としても手だてが八方塞がりになっておるんですけれども、ただ、一つのメリットとしたら、やはり雇用促進になってくれておるといのがもう一つの大きな理由なんですけれども、できるだけ気長にはなしに、やはりある程度の結論を出す時期じゃないかなという感じがするんですけれども、続けて交渉には臨んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○森本商工観光課長　　切れ目ない交渉を続けてまいりました。御意見のとおり、私どもの尾鷲市としての要望をしっかりと受け止めていただけるよう、これからも取り組んでまいります。

○中村委員　　熊野古道水についてなんですけれども、地域に対する説明ではペットボトルの洗浄に使うという説明があったので、ところが実際には飲料水として売られているんですよ。これについても、当初どういう契約をされたんですか。お伺いします。

○柳田商工観光課長補佐兼係長　　熊野古道水、今、ライフドリンクカンパニーさんが作られとるものに関して、今は井戸水を利用されておるといふうに聞いておるんですが、大変申し訳ございません。当初の契約等の部分に関しては、ごめんなさい、資料を手持ちでございませんので今明確にお答えすることはできないんですが、井戸を掘ること等に関しては一応許認可等はなかったかとは思いますが、現

実、今そちらのほうを使われて商品を作られておるといような状況でございます。

○中村委員 井戸を掘るのは別に許可として分かりますよ。でも、水ですからね。分かりました。当初の契約書を1回見せていただきたいので、ぜひ、委員長、出すように指示していただけますか。

○村田委員長 当初の契約書、また後でお示しをいただきたいと思います。

○柳田商工観光課長補佐兼係長 工業団地を立地したときの協定がたしかあったかと思しますので、それをまたお届けする形で通知のほうをさせていただきます。よろしくをお願いします。

○中村委員 それでは、83ページの熊野古道の湯の入浴料の負担金ってあるんですけども、これは普通の人が入浴するのに少し安くなっているということの理解でいいですか。もしそうやったら、1人当たり幾らぐらい安くなっているのか教えていただきたいんですけど。

○世古商工観光課係長 こちらは、以前観光大使の方に名刺を配らせていただいたところ、その名刺に熊野古道の入浴券をつけて配布させていただいておりました。その名刺を観光大使の方から受け取っていただいた方がそれを利用されるとこちらで負担させていただくというような内容になっておりました、その当時、このときは650円でしたので、650円分の負担金ということで上がってきています。

○中村委員 去年、これはどれぐらいの枚数が使われたのか教えていただけますか。

○世古商工観光課係長 昨年は1枚だったと記憶しております。

○中村委員 これは、継続して今も行われているんですか。

○世古商工観光課係長 現在はもうやっております。配布をしておりません。現在はもう配布をしていなくて、過去に配られたものが使われているという状況でございます。

○中村委員 それでは、85ページの観光トイレの管理業務委託の内訳を教えてください。どこの場所に幾らの管理業務をされているか。

○世古商工観光課係長 対象の箇所ですけれども、尾鷲駅前の公衆トイレ、黒の浜の公衆便所、駅前のビジターセンターの公衆便所、それから、向井の八鬼山入口の公衆便所でございます。

○中村委員 すみません。金額の内訳も教えてください。

○世古商工観光課係長 計4か所で63万8,000円になっておりますが、今、すみません、手元に詳細な資料を持っていませんので、申し訳ございません。

- 村田委員長 後ほどまた中村委員のほうに示してください。
- 中村委員 すみません。これ、三木里とかは観光ではないんですか、入ってないんです。
- 森本商工観光課長 こちらのほうに関しましては、三木里の観光トイレという形で別に契約のほうをさせていただいているところでございます。
- 中村委員 その63万8,000円の中には入っていないんですか、別建てですか。
- 森本商工観光課長 別に契約させていただいております。
- 中村委員 別のところは何か所ありますか。この63万8,000円に入っていない場所。
- 世古商工観光課係長 順番に申し上げます。馬越公園のトイレ、三木里海水浴場の二つのトイレ、コミュニティーセンターのところの二つのトイレ、名柄一里塚のトイレ、野鳥の小径のトイレ、賀田の観光トイレ、それから、三木浦マリンパークのトイレでございます。
- 中村委員 総額で幾らですか。
- 世古商工観光課係長 総額およそ200万ほどです。
- 中村委員 すみません。また内訳を後でお示してください。  
以上です。
- 西川委員 277ページの夢古道の指定管理料、これ、934万幾らと見ていますよね。こっちの企業実績のほうの85ページで、夢古道おわせの空調改修工事、夢古道の湯各所設備機部品取替え修繕、それと、この前サウナを修理しましたよね。一体熊野古道の湯にトータルどれだけ使っていますか。
- 森本商工観光課長 指定管理料といたしまして934万4,000円させていただいておるのに加えまして、市の会計のほうから修繕費として334万8,950円させていただいております。空調設備に関しましては、先ほど工事のほうで申し上げたとおりの数字でございます。
- 西川委員 これ、指定管理料からできやんの。全部修理は尾鷲が別途で持つということなん。
- 森本商工観光課長 1件10万円を超える部分についての修繕等に関しましては指定管理者との協議になっておりまして、先ほどの修繕に関しまして、工事に関しまして、こちらは市のほうでさせていただいたところでございます。基本的には協議なんですけれども、大きな修繕に関しましては、工事に関しましても市の会計

でさせていただきます、先日のサウナの修理のほうでございますが、こちら市のほうでさせていただいたという経緯でございます。

○西川委員 協議する前からもう尾鷲がするんでしょうね、それだったら。結局どっちも全部尾鷲がやっておるんでしょう。

○森本商工観光課長 結果的には市のほうでやらせていただいておりますが、修理に関しましては、報告が当然あってございます。こちらのほうが壊れた、こちらの不具合が生じているというような中で、協定に基づきましてこういう状況になっておりますので、市のほうでさせていただくというような経緯になっております。

○西川委員 じゃ、苦情は聞くけどお金は尾鷲が払うと。協議っていいですか、それ。

○森本商工観光課長 基本的には協議させていただいた上で、過去からさせていただいているところでございますので、申し訳ございませんが、よろしく願いいたします。

○中村委員 それでは、279ページについてちょっとお伺いしたいんですけども、東紀州地域振興公社負担金280万というのは、これは基本人件費ですか。

○森本商工観光課長 こちらに関しましては、5市町の連携のほうでさせていただいております。総額としまして1,680万円、5市町のほうでさせていただいてまして、本市の負担分は280万円でございます。

内容としましては、令和3年度に関しましてはマーケティング調査させていただいた中で、データの分析の資料とするようなこと。あと、プロモーション動画の作成、あと、ツアーの醸成とかいったものでさせていただいているところでございます。

○中村委員 ありがとうございます。

それと、同じページの尾鷲観光物産協会の970万というのは、これは返礼品の委託事業ですか。

○森本商工観光課長 こちらの補助に関しましては観光事業に対してのものでございまして、ふるさと納税の返礼品の部分は物産事業のほうに、自主事業のほうに当たっているというふうに思っております。観光事業に対しての補助でございます。

○中村委員 この観光事業の成果はなんですか。

○森本商工観光課長 こちらのほうは環境整備、いわゆる観光スポットの現地確認といったこととか情報収集、いわゆる職員として今後進めていくべき観光情報のセミナーの参加とか情報発信事業、こちらのほうは観光案内のパンフレットを取り

まとめ、また、いわゆるHOTセンターでの案内のほか、また、地域イベントの通じての観光と物産の振興に対してのイベントの参加という形で補助のほうを出して、事業として報告はいただいております。

○中村委員 すみません。後でまた成果品を見せていただけたらありがたいです。

○森本商工観光課長 報告させていただきます。

○中里委員 主要施策の83ページで、先ほど中村委員がおっしゃっていた入浴料の割引のものなんですけど、こちら、おっしゃっていたら申し訳ないんですけども、いつ何枚配っていただいたか。

○森本商工観光課長 手元のほうにすぐ出ませんので、御報告させていただいてよろしいでしょうか。先ほど申し上げたとおり、651枚の実績でございました。

○中里委員 後でまた教えてください。

次に、主要施策の81ページの事業の内容で、よいとこスタンプなんですけれども、こちらの今の現状というか、どれだけ何をされているのか教えていただけますか。

○柳田商工観光課長補佐兼係長 尾鷲よいとこスタンプの事業について御報告申し上げます。

今回御報告させていただきました事業のほうでございしますが、こちらのほうは国の交付金を利用させていただいて補助金を交付しております。

主に内容といたしましては、商品券事業と同時期にポイント2倍デーというものを実施していただきまして、より多くの方に地域の事業者様で御購入いただく。また、よいとこスタンプの会により多くの事業者が参加していただくというようなところへの助力という形で補助金を出してございます。

現在のところ、尾鷲の中では47店舗、この事業に御参加、同意いただいて加入していただいております。コロナ禍になってからこういった補助事業があるということもありまして、新たに事業者様のほうがよいとこスタンプのほうに加入されたというような実績も生まれております。

今年度に関しましては、ガラガラ抽せん会のほうを野地町の児童公園で行われたり、この後、中央公民館のほうでも抽せん会を実施するなど、活発に事業のほうは進められて、地域商業の発展に寄与されているということでございます。

以上です。

○中里委員 この補助金が100万ちょっとだと思ったんですが、それが全部国からの補助金ということで。

○柳田商工観光課長補佐兼係長      ポイント2倍デーに係る事業費でございます。  
全て110何万がそのポイント2倍デーの中で使われたと、金額に関しては118  
万4,012円でございます。

以上です。

○濱中副委員長      深層水のアクアステーションへの学校利用の回数などは出てお  
りますでしょうか。

○柳田商工観光課長補佐兼係長      体験学習で、昨年、一昨年とかなり多くの学校  
からおみえになっております。

内容といたしましては、三重県内が非常に多くございました。令和3年におきま  
しては全体で9校、人数にいたしまして201名という形でございます。その前、  
令和2年は6校でございましたが562名ということで人は多かったんですけど  
も、令和2年の時点で500名受け入れたときに正直少し多過ぎたと、密になっ  
てしまうというようなこともございまして、今回ちょっと人数を絞った形で201名  
ということでございます。

以上です。

○濱中副委員長      外から来ていただいて深層水の知名度アップということも大事  
ですし、あと、ふるさと学習の観点から言いますと、地域の子が自分たちで海洋深  
層水のある町に住んでいるということが自負できるような、そんな流れの中の利用  
できる施設の一つかなと思いますので、どんどん教育委員会と連携を取っていただ  
いて、子供たちに深層水の存在、それから、その説明を子供たちができるぐらいの  
PR力をつけていただく、一端を担っていただきたいと思いますので。

今年度も動いていますよね、学校利用は。その辺りをちょっと、今年の流れ、お  
願いします。

○柳田商工観光課長補佐兼係長      今年なんですけれども、実はまだ受入れのほう  
がされていないような状況です。コロナ禍も少し落ち着いたと言いますが、いろい  
ろと社会的なコロナに対する方向性といいますか、考え方も変わってきた中で、地  
域内へのというのはちょっと少なくなっているということ。

ただ、一方で学校ということではないんですけれども、わんぱくのほうがこちら  
を利用して体験していただいたりということもございますので、幅広く、学校だけ  
ではなくいろいろな個人を含めて地域、尾鷲の産業、尾鷲の深層水を見ていただ  
けるような仕掛けというものも今後も続けていきたいと考えております。

○村田委員長      いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村田委員長　それでは、商工観光課の審査を終わります。

ここで昼食のため休憩をいたします。午後の再開は1時からといたします。休憩いたします。

(休憩　午前11時28分)

(再開　午後　0時58分)

○村田委員長　委員会を再開いたします。

次に、議案第51号の尾鷲市一般会計の歳入歳出決算について、建設課に係る説明をお願いしたいと思います。

○塩津建設課長　建設課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第51号、令和3年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、建設課に係る歳出決算について説明いたします。通知をいたします。

決算書の238、239ページを御覧ください。

4款衛生費、4項下水道費、1目下水道整備費で、予算額759万4,000円に対しまして、支出済額737万2,787円で、不用額22万1,213円です。

内訳は、10節需用費の支出済額が113万4,100円です。内容は、市内下水道の修繕料8件分となります。

11節役務費の支出済額が86万8,487円です。内容は、市内下水道の清掃に係る手数料8件分です。

12節委託料の支出済額が121万円です。内容は、市内下水道の清掃調査業務の委託料です。

14節工事請負費の支出済額が416万200円です。内容は、中川・矢の浜幹線下水路の浚渫工事費です。

通知をいたします。決算書の278、279ページを御覧ください。

7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費で、予算額3,827万7,000円に対しまして、支出済額3,715万8,401円で、不用額111万8,599円です。

内訳は、1節報酬の支出済額ゼロ円です。これは、尾鷲湾濁水問題協議会開催に係る報償費2名分を予算計上しておりましたが、令和3年度、開催がございませんでしたので、2万7,000円が不用額となっております。

次のページを御覧ください。

8節旅費の支出済額が7万8,520円で、不用額37万7,480円です。これは、尾鷲市幹線道路建設促進同盟会などの要望活動に係る普通旅費として計上しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い東京への要望活動が中止となったため、不用額が生じたものであります。

10節需用費の支出済額が72万1,507円です。主な内容は、消耗品費の購入費です。

11節役務費の支出済額が15万4,754円です。主な内容は、通信運搬費6万6,844円です。

12節委託料の支出済額が517万円です。内容は地籍調査業務委託料で、事業の詳細につきましては、後ほど担当より説明いたします。

13節使用料及び賃借料の支出済額が129万2,296円です。内容は、複合機使用料44万7,716円、土木積算システム利用料84万4,580円です。

次の282、283ページを御覧ください。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額237万8,000円です。主な内容は、紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟会会費28万円、三重県社会基盤整備協会会費96万5,000円。次のページを御覧ください。一般国道42号熊野尾鷲道路（Ⅱ期）開通式典等実行委員会負担金90万円、その他、各協会、協議会、同盟会への会費及び負担金となっております。

26節公課費の支出済額が3万7,800円です。内容は、建設課管理の公用車車検に伴う自動車重量税でございます。

それでは、地域調査業務委託料の詳細につきまして、担当課長補佐より説明いたします。

○山中建設課長補佐兼係長      それでは、地籍調査事業について御説明をさせていただきます。通知をいたします。

事業名は、地籍調査事業です。事業の内容の主なものといたしまして、委託料517万円です。

事業の成果につきまして、天満地区のうち、古里ノ上において、細部図根測量、一筆地調査、原図作成等を実施しました。財源内訳は、県支出金の地籍調査補助金392万7,000円、一般財源135万円でございます。

地籍調査の説明は以上でございます。

○塩津建設課長      それでは、再度通知をさせていただきます。決算書の284、285ページを御覧ください。

2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費で、予算額1,986万4,000円に対し、支出済額1,923万8,117円、不用額62万5,883円です。内訳は、10節需用費の支出済額が105万9,367円です。主な内容は、光熱水費61万237円で、これは、都市計画道路の街路灯などの電気代となっております。

12節委託料の支出済額が212万3,000円です。内容は、道路台帳更新業務の委託料でございます。

13節使用料及び賃借料の支出済額が22万7,766円です。これは、国道42号地下道の防犯カメラ回線使用料でございます。

次のページを御覧ください。

続きまして、2目道路維持費で、予算額1億7,133万8,000円に対しまして、支出済額1億2,036万6,994円、繰越明許費5,080万円、不用額17万1,006円です。内訳は、10節需用費の支出済額が793万400円です。主な内容は、修繕料783万1,376円で、これは、市内各所の道路修繕料44件分でございます。

11節役務費の支出済額が780万8,994円です。内容は、道路除草作業手数が518万53円で、道路の除草作業57件分となっております。

12節委託料の支出済額が48万4,000円で、繰越明許費が100万円です。内容は、橋梁長寿命化修繕事業に伴う積算業務委託料です。繰越明許費は、防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策による補正予算により、梶賀第一トンネル修繕工事において国からの交付金が増額となったため、積算業務委託料としての100万円であります。

14節工事請負費の支出済額が1億414万3,600円、繰越明許費4,980万円でございます。内容は、市内各所の舗装工事及びJR跨線橋上岡第一陸橋ほか4橋の橋梁修繕工事、梶賀第一トンネルの修繕工事でございます。繰越明許費につきましては、12節の委託料と同様、防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策による補正予算により梶賀第一トンネル修繕工事の交付金が増額となったための工事費としての4,980万円であります。

道路維持事業の詳細につきましては、担当主幹より説明いたします。

○岡田建設課主幹兼係長　それでは、御説明させていただきます。

通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書の87ページを御覧ください。

事業名、道路維持事業の目的は、老朽化している道路橋の維持管理を行うとともに、道路の局所的な修繕や舗装の改良、清掃、除草作業を実施し、地域の道路網の

安全性、信頼性を確保することを目的とするものでございます。

事業内容は先ほど課長が説明したとおりとなりますので、割愛させていただきます。

事業成果は、老朽化する道路橋、J R 跨線橋及びトンネルについて、優先順位を考慮しながら計画的に修繕工事を実施し、地域の道路網の安全性、信頼性の向上を図りました。

財源内訳は、事業費 1 億 2,036 万 7,000 円のうち、国庫支出金 5,179 万 3,000 円。これは、防災安全交付金及び社会資本整備総合交付金です。一般財源が 1,302 万 9,000 円、その他特定財源としまして 5,554 万 5,000 円、その他特定財源の内訳としまして、道路等占用料 757 万 2,000 円、水道管理設に伴う舗装復旧金 27 万 3,000 円、ふるさと応援基金繰入金 1,000 万円、橋梁整備事業債 2,790 万円、梶賀第一トンネル修繕事業債として 980 万円であります。

説明は以上となります。

○塩津建設課長　それでは、通知をいたします。決算書の 286 ページ、287 ページを御覧ください。

3 目道路新設改良費で、予算額 5,800 万円に対しまして、支出済額 5,799 万 5,300 円、不用額 4,700 円です。内訳は、10 節需用費の支出済額が 1,987 万 7,000 円です。内容は、市内各所の道路及び側溝等の修繕料で、114 件分でございます。

14 節工事請負費の支出済額が 3,811 万 8,300 円です。内容は、野地町地内道路改良工事ほか 6 件でございます。

市道改良事業の詳細につきまして、担当主幹より説明いたします。

○岡田建設課主幹兼係長　それでは、説明させていただきます。通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書の 88 ページを御覧ください。

事業名、市道改良事業。事業の目的は、建設課にて管理する道路施設について、道路パトロールや住民からの要望に基づき、市道の機能改善及び改良工事を適切に推進し、安全安心な市民の利用を図るものでございます。

事業内容は先ほど課長が説明したとおりとなりますので、割愛させていただきます。

事業成果は、市道での車両等による走行安全や側溝整備による道路排水機能の改善を進めることで安心安全な道路利用を図ることができました。令和 3 年度の主な

る内容は、名古屋上ノ山線道路改良工事をはじめとして市内各所の道路改良工事を実施し、通行の確保を推進いたしました。

財源内訳は、事業費 5,799 万 5,000 円のうち、一般財源が 1,249 万 5,000 円、その他特定財源としまして、ふるさと応援基金繰入金 1,000 万円、道路改良事業債 3,550 万円であります。

説明は以上となります。

○塩津建設課長      それでは、通知をいたします。決算書の 286、287 ページを御覧ください。

続きまして、河川費でございます。3 項河川費、1 目河川総務費で、予算額 1,023 万円に対しまして、支出済額 963 万 3,775 円、不用額 59 万 6,225 円です。内訳は、10 節需用費の支出済額が 318 万 5,600 円です。内容は、河川及び護岸等の修繕料 23 件分です。

11 節役務費の支出済額が 249 万 8,875 円です。内容は、河川除草作業手数料 14 件分でございます。

14 節工事請負費の支出済額が 391 万 9,300 円で、不用額は 58 万 700 円です。内容は、太田川河川改修工事でございます。不用額の生じた主な理由としましては、河川改修工事の入札差金が生じたためであります。

18 節負担金、補助及び交付金の支出済額が 3 万円です。内容は、全国海岸協会の会費でございます。

続きまして、2 目砂防費で、予算額 2,966 万 3,000 円に対しまして、支出済額 1,722 万 2,400 円、繰越明許費 1,244 万円です。

次のページを御覧ください。

内訳は、18 節負担金、補助及び交付金で、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業の地元負担金でございます。内容は、宮ノ上地区、九鬼 2 地区、坂場 4 地区の急傾斜地崩壊対策事業費の地元負担金であります。繰越明許費は、宮ノ上地区、坂場 4 地区における急傾斜地崩壊対策事業の負担金であります。

続きまして、港湾費でございます。4 項港湾費、1 目港湾管理費で、予算額 1,210 万 5,000 円に対しまして、支出済額 1,170 万 188 円、不用額 40 万 4,812 円です。内訳は、10 節需用費の支出済額が 216 万 7,242 円です。主な内容は、光熱水費 166 万 542 円で、これは、建設課で管理しております港湾トイレの 6 か所分の電気代及び水道代でございます。

11 節役務費の市済額が 301 万 2,716 円です。主な内容は、浄化槽保守点

検等手数料 295万7,900円で、港湾トイレ6か所分の保守点検料となります。

12節委託料の支出済額が584万4,630円です。主な内容は、尾鷲港港湾施設清掃業務委託料166万1,000円、尾鷲市海岸清掃業務委託料283万8,000円で、その他、港湾トイレの清掃業務及び船舶給水作業の委託料でございます。

次に、290、291ページを御覧ください。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が67万5,600円です。主な内容は、尾鷲港湾海岸施設維持補修費負担金56万7,600円でございます。

続きまして、都市計画費でございます。5項都市計画費、1目都市計画総務費で、予算額2,675万8,000円に対し、支出済額2,637万7,524円、不用額38万476円です。内訳は、1節報酬の支出済額が20万4,600円です。これは、都市計画審議会の委員報酬でございます。

次のページを御覧ください。

8節旅費の支出済額が3万8,000円です。これは、都市計画審議会委員の旅費であります。

10節需用費の支出済額が22万6,766円です。内容は消耗品費で、坂場銀杏町線の花壇の肥料及び苗木の購入費となっております。

11節役務費の支出済額が9,460円です。内容は、通信運搬費です。

12節委託料の支出済額が1,197万9,000円です。内容は、尾鷲市都市計画マスタープラン見直し策定業務委託料でございます。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が2万8,000円です。内容は、都市計画協会の負担金でございます。

続きまして、2目街路事業費で、予算額5,099万1,000円に対しまして、支出済額5,082万9,736円、不用額16万1,264円です。内訳は、10節需用費の支出済額が261万9,606円です。主な内容は、修繕料259万3,690円で、これは、都市計画道路の舗装や側溝、街路灯などの修繕21件分でございます。

11節役務費の支出済額が76万8,888円です。内容は、都市計画道路の修繕等手数料17件分でございます。

14節工事請負費の支出済額が1,299万7,600円です。内容は、尾鷲港新田線の舗装改良工事でございます。

次のページを御覧ください。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が2,883万3,333円です。内容は、県が実施します尾鷲港新田線街路事業の地元負担金で、補償鑑定費や用地費、建物補償費に係る負担金でございます。

それでは、街路整備事業の詳細につきまして、担当主幹より説明いたします。

○岡田建設課主幹兼係長      それでは、説明させていただきます。通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書の89ページを御覧ください。

事業名、一般街路整備事業。事業目的としましては、本市の都市計画道路において、補修が必要な個所の修繕対応など維持管理を行い、事業認可を受けたことによる尾鷲港新田線の舗装改良工事を長期計画的に推進することにより安心安全な市民の利用を図るとともに、県事業として推進される尾鷲港新田線整備事業への連携及び協力をを行い、早期完成することを目的とするものでございます。

事業内容は先ほど課長が説明したとおりですので、割愛させていただきます。

事業成果は、平成30年度に都市計画道路尾鷲港新田線歩車道舗装工事の都市計画事業認可を受けたことにより計画的に維持管理を進めることが可能となり、今後も引き続き、安全性、信頼性の向上を図っていきたい。

財源内訳は、事業費4,521万9,000円のうち、一般財源が3,521万9,000円で、その他、特定財源としまして、都市計画事業基金繰入金1,000万円であります。

説明は以上となります。

○塩津建設課長      通知をいたします。決算書の294、295ページを御覧ください。

3目公園費でございます。予算額1,331万円に対しまして、支出済額1,228万9,960円、不用額102万400円です。

内訳は、10節需用費の支出済額が128万8,450円です。主な内容は、修繕料を99万4,945円で、公園の遊具などの修繕料となります。

11節役務費の支出済額が105万7,410円です。主な内容は、浄化槽保守点検等手数料46万5,350円と樹木剪定・除草手数料444万4,660円です。

12節委託料の支出済額が908万8,200円です。主な内容は、立木伐採業務委託料572万円で、これは、中村山公園をはじめとした市内の都市公園において、危険木や景観上支障のある樹木の伐採及び小学生を対象とした森林教育を実施したものであります。

14節工事請負費の支出済額が82万3,900円です。内容としましては、公

園遊具の撤去工事費で、中村山公園の遊具のうち、点検により危険と判断された遊具11基を撤去したものでございます。

次のページを御覧ください。

15節原材料費の支出済額が3万2,000円です。内容は、テニスコート整備に係る砂の購入費でございます。

続きまして、住宅費でございます。6項住宅費、1目住宅管理費で、予算額3,033万6,000円に対しまして、支出済額2,907万5,810円、不用額126万190円です。

内訳は、9節旅費の支出済額がゼロ円でございます。これは、講習会への参加のための普通旅費で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったため、不執行となったものでございます。

10節需用費の支出済額が336万5,872円です。主な内容は、修繕料322万3,917円で、これは、市営住宅の修繕50件分でございます。

11節役務費の支出済額が54万2,887円です。主な内容は、市営住宅の除草作業手数料でございます。

次のページを御覧ください。

12節委託料の支出済額が149万9,000円です。内容は、住宅・建築物耐震診断業務委託料30件分でございます。

13節使用料及び賃借料の支出済額が5万5,000円です。内容は、ソフトウェアの使用料でございます。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が494万7,000円です。内容は、避難路沿道建築物の耐震診断補助金198万円及び木造住宅耐震補強等補助金296万7,000円です。

それでは、住宅耐震診断等事業につきまして、担当主幹より説明いたします。

○上村建設課主幹兼係長　それでは、説明いたします。通知します。

事業名は、住宅耐震診断等事業です。事業の目的は、地震防災対策の充実を図るため、住宅の地震による被害の軽減を図るものであります。

次に、事業成果につきまして、昨年度は30件の木造住宅が耐震診断を受け、2件が耐震補強設計及び耐震補強工事を行い、1件の解体を行いました。

事業成果としては、平成15年度の事業開始から累積で1,264件の木造住宅が耐震診断を受けたこととなります。

財源内訳は、事業費446万6,000円のうち、国庫支出金185万1,000

円、県支出金 1 4 8 万 5, 0 0 0 円、一般財源 1 1 3 万円となっております。

説明は以上です。

○塩津建設課長　それでは、通知させていただきます。決算書の 3 5 4、3 5 5 ページを御覧ください。よろしいでしょうか。

1 0 款災害復旧費、2 項公共土木施設災害復旧費、1 目現年発生公共土木施設災害復旧費で、予算額 1 0 0 万円に対しまして、支出済額ゼロ円、不用額 1 0 0 万円でございます。

次の 3 5 6、3 5 7 ページを御覧ください。

内訳は、1 4 節工事請負費の支出済額がゼロ円です。これは、災害復旧工事がなかったためでございます。

議案第 5 1 号、令和 3 年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についての建設課に係る説明は以上でございます。よろしく御審議賜り、御承認いただきますようお願い申し上げます。

○村田委員長　以上が建設課の決算に係る説明でございました。

御質疑がございましたら御発言願いたいと思います。

○南委員　決算書の 2 8 5 ページの一般国道熊野尾鷲道路のⅡ期の開通実行委員会の負担金の 9 0 万ですけど、これは昨年 8 月 2 9 日に供用開始したあれやと思うんですね。最終的に開通式はやらなかったですよ。この準備までにかかった費用の負担なんですか、これ。そこら辺だけ。

○山中建設課長補佐兼係長　南委員からの御質問ですが、9 0 万円の負担金をいただきました。実質的に尾鷲市からの負担金で使った部分に関しまして、3 9 万 6, 0 5 1 円ということでしたので、差額の 5 0 万 3, 9 5 7 円に関しましては、尾鷲市の雑入として今年度返金をさせていただいております。

○南委員　この 9 0 万中 3 9 万使ったということですか。

○山中建設課長補佐兼係長　おっしゃるとおりです。

もともとが紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟会から 9 0 万円の負担金、熊野尾鷲道路建設促進同盟会から 1 9 万 4, 7 0 0 円の負担金、尾鷲市から 9 0 万の負担金で、1 9 9 万 4, 7 8 0 円で当初事業を行おうとしておりました。ただ、先ほど委員がおっしゃられたようにコロナの蔓延もありまして、開通式典、あるいはそれに伴うイベント等が開催できなかったことから、準備にかかる予算としまして 1 4 0 万 9, 7 5 1 円総額として必要となりました。これについては、事前に高速道路の開通を祝うのぼりであったりとか横断幕、三重県あるいは尾鷲市、熊野市の役

場のほうに計上させていただいた横断等の費用、あと、来場者の方にお配りする予定であった記念品、あと、小学生の子どもたちを書いていただく未来の尾鷲、あるいは未来の熊野、尾鷲道路という形で書いていただいた絵にかかる費用、あるいはそれに伴う御礼と品等が実費としてかかっており、それに残った金額の50万3,957円が尾鷲市のほうへ先日雑入として入れさせていただいた次第でございます。

○村田委員長　だから、39万については今説明のあったように使いましたということでしょう。

他にございませんか。

○中村委員　86ページの実績報告書の中の地籍調査のパーセントを教えてください。尾鷲市全域で今地籍調査が終わっている面積のパーセントはどれだけですか。

○塩津建設課長　令和3年度の地籍調査の研究資料の数字でございますが、尾鷲市全体で実施済みの面積が3.22キロ平方メートルで、調査対象面積が165.02キロ平方メートルですので、約2%の進捗となっております。

○中村委員　尾鷲市として、これを100%にするのに何年とかという計画ってお持ちですか。

○塩津建設課長　100%にするまでというのかなりの年数がかかると思います。そういう計画については、まだ現在、全体的な計画に移ってございません。以上です。

○中村委員　事前復興の基本やと思うんですけども、ぜひ計画をつくっていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

それと、決算書の285ページの自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会に会費を払っておられるんですけども、これに関した事業って何かされていますか。

○山中建設課長補佐兼係長　これにつきまして、全国市区町村会の会費のほかに現在紀勢国道事務所さんのほうと一緒に尾鷲市、あるいは東紀州地域全体での自転車の活用計画の案を検討しているところでございます。

○中村委員　その成果品はいつ頃出ますか。

○山中建設課長補佐兼係長　すみません。成果品というか、現在検討段階で、これを紀勢国道さん等とともに検討している段階ですので、成果品というものまでちょっとまだ行かない状態です。

○中村委員　成果品がもし出たら見せていただきたいと思います。

それでは、289ページの委託料の賀田のトイレと三木里、それから、尾鷲港のトイレの委託料の差は何を起因としていますか。

○塩津建設課長　　まず、賀田の公衆トイレは1件でございます。三木里が3件、尾鷲港のほう全部で4件ございまして、数の違いでございます。

○中村委員　　数で1件やと26万で、3件やと35万で、4件やと56万ということですか。

○岡田建設課主幹兼係長　　1件1件という金額で積算しているのではなくて、全て見積書をいただいて、それで、これでできるのかということ協議して、これで予算化します。

○中村委員　　ありがとうございます。

それでは、港湾施設清掃業務の内訳というのか、何についての港湾施設なのか教えていただけますか。

○岡田建設課主幹兼係長　　港湾施設の海岸清掃業務委託でよろしいでしょうか。

○中村委員　　海岸と二つ、両方ともお答えいただけませんか。

○岡田建設課主幹兼係長　　尾鷲港湾施設清掃業務の委託については、台風などによって尾鷲港の中に漂流して港に打ち上げられる塵芥を全て清掃するという形になります。同じく尾鷲市海岸清掃業務委託もそうで、三木里港、三木里海岸に打ち上げられる塵芥の処分になります。

○中村委員　　295ページの中村山の立木伐採とその管理委託が別になっているんですけれども、この管理委託は毎年出される費用ですか。

○山中建設課長補佐兼係長　　中村山公園の管理委託料は毎年委託をしてもらっている分になります。

○中村委員　　すみません、内訳を教えてくださいませんか。

○山中建設課長補佐兼係長　　中村山公園他管理委託料につきましては、金額のとおり214万5,000円で、尾鷲市シルバー人材センターのほうへ委託をしております。内容としましては、中村山公園、野地町駅前児童公園、北浦児童公園、大曾根公園、矢の浜公園の園内の清掃、ごみ収集及び施設清掃を毎月と、矢の浜公園の草刈り及び剪定を年2回ということになっております。

○村田委員長　　よろしいですか。他にございませんか。

西川委員、いいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村田委員長　　それでは、ないようでありますので、建設課の審査を終わります。

ちょっと早いんですが、10分間休憩します。

(休憩 午後 1時34分)

(再開 午後 1時41分)

○村田委員長 再開いたします。

令和3年度の尾鷲市一般会計の歳入歳出決算のうちの教育委員会に係る説明を求めます。

○出口教育長 教育委員会でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議案第51号、令和3年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、教育委員会に係る部分につきまして、教育総務課長並びに生涯学習課長から説明させていただきますので、よろしく御審議賜りますようお願いいたします。

○森下教育総務課長 教育総務課でございます。よろしくお願いいたします。

議案第51号、令和3年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、教育総務課に関する決算につきまして、決算書及び主要施策の成果及び実績報告書に基づき、御説明いたします。

決算書302、303ページを御覧ください。通知します。

9款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費でございます。予算現額247万5,000円に対し、支出済額は237万7,039円で、不用額は9万7,961円でございます。支出済額の主なものといたしましては、1節報酬235万1,999円は、教育委員4名の委員報酬でございます。

次に、2目事務局費でございます。予算現額1億4,716万4,000円に対し、支出済額は1億4,189万8,785円で、不用額は526万5,215円でございます。

1節報酬は、支出済額1,055万8,154円で、学校健康管理費や尾鷲小学校運営協議会委員への委員等報酬52万3,200円と会計年度任用職員2名分とALT2名分の報酬1,003万4,954円でございます。

次に、2節給料、次ページの3節職員手当等、4節共済費の職員人件費につきましては、総務課より説明が行われておりますので、割愛させていただきます。

次に、7節報償費は、支出済額12万円で、学校評議員11名分の報償費11万円が主なものでございます。不用額11万円は、魅力ある学校づくり推進事業などに関する講師謝礼が新型コロナウイルス感染症の影響により見込みを下回ったこと

が主な理由となっております。

魅力ある学校づくり推進事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。通知します。

- 高田教育総務課調整監      それでは、主要施策の成果及び実績報告書92ページを御覧ください。

魅力ある学校づくり推進事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、学校の特色化、魅力ある学校づくりを進めるため、三重大学との共同研究により、賀田小学校と輪内中学校をモデル校に位置づけ、小中連携した9年間の英語カリキュラムを開発し、児童・生徒の英語力、コミュニケーション能力の向上によりグローバルな人材を育て、また、教職員向けの研修会等を通じ、指導のノウハウを市内の小中学校に伝達し、市全体の英語教育の充実を図ることを目的としております。

事業の内容につきましては、三重大学との共同研究により9年間を通じた英語教育を充実させ、独自のカリキュラムを開発するなど、以下記載のとおりでございます。

経費の内訳としましては、報償費1万円、手数料6万円、委託料12万750円で、計19万750円となっております。

事業成果としましては、賀田小学校において、小学校1年生から6年生までのCAN-DOリストを作成し、令和4年1月18日には今まで学んできた英語学習の集大成として、台湾の小学生とオンラインでの交流会を行いました。子供たちは自分たちの地域の魅力を台湾の小学生に英語を使って伝えようと試行錯誤しながら取り組み、より英語に対する意欲、関心を深めることにつながりました。

また、三重大学の野准教授を招聘した公開授業研修会を行い、市内の全小中学校の教職員が参加し研修に励むことができたとともに、外国語科の授業づくりについて発信する機会とすることができました。輪内中学校においては、同じく三重大学、野准教授と連携して指導を行い、英語発表会を行いました。全校生徒、保護者、小学生などを招き、どの生徒も英語で合唱や手話を取り入れた歌、スピーチなどを堂々と発表することができました。

財源内訳につきましては、全てふるさと応援基金繰入金となっております。

説明は以上です。

- 森下教育総務課長      それでは、決算書304、305ページに戻りください。通知します。

次に、10節需用費は、支出済額453万1,817円で、主な支出は、消耗品費360万2,989円で、4年に1回の教科書改訂に伴う中学校教科書及び指導書、デジタル教科書代等でございます。

次に、11節役務費は、支出済額111万5,889円で、次ページの庁舎別館及び矢浜教員住宅の浄化槽保守点検手数料56万3,500円が主なものでございます。

次に、12節委託料は、支出済額2,925万8,678円で、支出の主なものとしたしましては、スクールバス運行委託料1,393万6,560円と、学校給食施設整備事業設計業務委託料1,188万円でございます。不用額292万3,322円は、設計業務委託料の入札差金为主要理由でございます。

九鬼・輪内地区スクールバス運行管理事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。通知します。

○柳瀬教育総務課係長 主要施策の成果及び実績報告書91ページを御覧ください。

九鬼・輪内地区スクールバス運行管理事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、九鬼・輪内地区における小中学生の通学手段の確保と地域間交流活動を行う際の移動手段の確保を目的としております。

事業内容につきましては、主にスクールバス3台の運行管理業務となっており、経費内訳は、自賠責保険料、自動車重量税等を含む業務委託料1,393万6,560円となっております。

事業成果としましては、九鬼・輪内地区の小中学生の安全な通学手段の確保及び遠距離通学の負担が軽減され、また、地域内での伝統行事、校外学習等における移動手段としての利用により、地域住民との交流や社会生活、郷土愛等を育む教育環境の充実を図ることができたと考えています。

財源内訳は、ふるさと応援基金繰入金1,200万円、一般財源193万7,000円となっております。

説明は以上です。

○森下教育総務課長 それでは、決算書308、309ページを御覧ください。通知します。

次に、13節使用料及び賃借料は、支出済額1,527万4,593円で、主なものは、学校ICT環境機器借上料1,499万5,200円で、各小中学校でのパソコン教室の学習用端末や大型ディスプレイなどの機器借上料でございます。

次に、18節負担金、補助及び交付金は、支出済額451万1,799円で、不用額65万9,201円は、児童・生徒のけが等に関する日本スポーツ振興センター共済給付金が見込みを下回ったことによるものでございます。支出の主なものとしたしましては、日本スポーツ振興センター共済掛金89万8,040円、日本スポーツ振興センター共済給付金115万617円、次ページの紀北教育研究所運営費分担金90万円などが主なものでございます。

312、313ページを御覧ください。

次に、3目奨学資金貸付金でございます。予算現額399万1,000円に対して、支出済額は398万5,752円でございます。支出の主なものとしたしましては、20節貸付金、支出済額は396万円でございます。奨学資金貸付事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。通知いたします。

○柳瀬教育総務課係長　それでは、主要施策の成果及び実績報告書93ページを御覧ください。

奨学資金貸付事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、高校、大学等へ進学する生徒・学生で、学資の十分でない者に対し奨学資金を貸与し、卒業後、社会に貢献させることを目的としております。

事業の内容につきましては、勉学意欲があるにもかかわらず経済的理由により高校、大学等へ進学が困難な者に尾鷲市奨学資金貸与選考委員会での選考を経て承認された方に奨学資金を貸与しております。

経費内訳は記載のとおりです。

事業成果としましては、高校、大学へ進学する生徒・学生に対して奨学資金を貸与することにより保護者の経済的負担を軽減し、適切な修学環境の整備を図ることで次代の社会を担う人材育成のための機会を保障することができたと考えております。

また、新型コロナウイルス感染症による経済的な影響を鑑み、年度内に追加募集を実施したところ、1名の追加採用者がございました。

財源内訳は、奨学資金貸付金返還金として396万円、一般財源が2万6,000円となっております。

説明は以上です。

○森下教育総務課長　決算書312、313ページにお戻りください。通知します。

次に、2項小学校費、1目学校管理費でございます。予算現額1億5,918万6,000円に対し、支出済額は1億4,946万9,834円で、不用額は828

万6,166円でございます。支出の主なものにつきましては、1節報酬は、支出済額6,025万5,557円で、各学校の校医報酬及び薬剤師報酬と給食調理員等の会計年度任用職員49名分の報酬でございます。不用額91万2,443円につきましては、会計年度任用職員の報酬が見込みを下回ったものでございます。

次に、7節報償費は、支出済額14万4,400円。こちらは、各小学校の就学前検診医師謝礼でございます。

次に、10節需用費は、支出済額4,068万2,975円で、不用額は477万2,025円で、主な理由といたしましては、各学校の光熱水費が見込みを下回ったことによるものでございます。主な支出といたしましては、授業用事務用品などの消耗品費1,346万9,079円、次ページの光熱水費2,027万2,058円、修繕料は347万8,384円で、各学校施設設備修繕費等でございます。

次に、11節役務費は、支出済額1,027万4,853円、不用額66万5,147円は、通信運搬費、プール機器点検手数料などが見込みを下回ったためでございます。主な支出につきましては、各学校の浄化槽保守点検手数料661万8,400円、火災報知機点検手数料59万7,300円、給食用昇降機点検手数料73万5,900円などでございます。

316、317ページを御覧ください。

12節委託料は、支出済額276万8,066円で、児童心臓検診委託料28万280円をはじめ、以下、御覧の委託料でございます。

次に、13節使用料及び賃借料は、支出済額187万199円で、不用額は51万1,801円、各学校の複合機使用料が見込みを下回ったことが主な理由でございます。主な支出につきましては、複合機使用料126万4,612円、次ページのインターネット使用料49万5,000円でございます。

次に、14節工事請負費は、支出済額779万1,300円で、尾鷲小学校及び賀田小学校遊具設置撤去工事でございます。繰越明許費143万円は、令和4年度向井小学校屋内消火栓ポンプ改修工事分の繰越しでございます。

次に、15節原材料費は、支出済額22万8,671円で、グラウンド整備用山砂代でございます。

次に、17節備品購入費は、支出済額305万1,952円で、各小学校の図書購入や各学校へのAEDの購入等でございます。

次に、2目教育振興費でございます。予算現額917万4,000円に対し、支出済額は814万1,077円で、不用額は103万2,923円でございます。

7節報償費、支出済額9,000円から13節使用料及び賃借料支出済額26万3,600円につきましては、ふるさと教育支援事業及び子どもの学びと育ち育成支援事業に係る経費でございます。ふるさと教育支援事業及び子どもの学びと育ち育成支援事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。通知します。

○柳瀬教育総務課係長      それでは、主要施策の成果及び実績報告書94ページを御覧ください。

ふるさと教育支援事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、子供たちがふるさと尾鷲に愛着を持ち続けるため、地域の人々の考え方や生き方から学んだり、自然や景観、歴史、伝統文化の体験など、郷土愛を育むふるさと教育を充実させることを目的としております。

事業の内容につきましては、尾鷲の自然や景観、歴史、伝統文化などに触れる体験学習や地域教材を活用した学びを充実させるなど、以下、記載のとおりでございます。

経費内訳は、小学校分が消耗品費と借上料で41万9,000円、中学校分が消耗品費と通信運搬費で3万1,000円となっております。

事業成果としましては、コロナ禍によりできないこともありましたが、小学校では鈴鹿サーキットでの体験プログラムに参加し、本田技研工業株式会社での自動車生産などについて学ぶことができました。自然体験学習や伝統文化体験学習などを通して、地域の自然、歴史、食文化について理解を深めたり、地域の先人の知恵等を学んだりするなど、地域を大切に作る気持ちを育むことができ、また、地域の人々との交流を深める機会を持つことができました。

ただ、中学校のふるさと産業体験活動につきましては、コロナ禍であったため、残念ながら職場体験をすることができませんでした。

財源内訳は、全てふるさと応援基金繰入金でございます。

続きまして、次の95ページを御覧ください。

次に、子どもの学びと育ち育成支援事業について御説明いたします。

まず、事業の目的としましては、ふるさと尾鷲を担い創り上げていくおわせ人を育成していくため、教職員の指導力向上と事業改善を目指した絶え間ない研修、また、豊かな未来を切り開くための環境づくりと学校教育の充実を進めるとともに、文化的、芸術的な催物の鑑賞を通して園児の豊かな感性や想像力を育むことを目的としております。

事業の内容につきましては、「すべては、子どもたちのために」という思いを共有、協働して組織的に支え合う取組を推進するなど、以下、記載のとおりでございます。

経費内訳は、小学校が報償費、消耗品費、役務費など32万8,000円、中学校が消耗品費で36万8,000円、幼稚園が消耗品費、委託料などで15万1,000円となっております。

事業成果としましては、各学校においてQ U調査を活用し、学級のデータ分析を行い、課題解決に向けての取組を進めるなど、P D C Aサイクルを意識した学校経営に役立てることができ、また、一人一人の子供の思いを把握し、個別に悩みを聞くなどの対応やいじめ等の諸問題に対して未然防止の取組などにつなげることができたと考えています。幼稚園ではプロによる人形劇を観劇し、子供たちの心に強く残るものとなり、本物の文化、芸術に触れる貴重な機会を持つことができました。

財源内訳は、全て一般財源となっております。

説明は以上です。

○森下教育総務課長      それでは、決算書318、319ページにお戻りください。通知します。

次に、19節扶助費は、支出済額739万4,134円、不用額は86万2,866円で、不用額の主な理由は、特別支援教育就学奨励費の認定児童が見込みを下回ったことが理由となっております。

支出の内容は、就学援助費用で学用品費、給食費、特別支援教育就学奨励費でございます。認定児童の内訳は、準要保護134名、特別支援が16名でございます。

次に、3項中学校費、1目学校管理費でございます。予算現額は、8,722万円に対し、支出済額は8,182万1,093円で、不用額は539万8,907円でございます。

320、321ページを御覧ください。

支出の主なものにつきましては、1節報酬は、支出済額1,377万9,728円で、各学校の校医報酬と薬剤師報酬及び用務員等の会計年度任用職員8名分の報酬でございます。不用額80万8,272円につきましては、会計年度任用職員の報酬が見込みを下回ったためでございます。

次に、10節需用費は、支出済額1,913万783円、不用額は115万8,217円で、主に各校における光熱水費が見込みを下回ったことが主な原因となっております。主な支出につきましては、事業用事務用品などの消耗品費569万77

8円、光熱水費1,057万5,607円、修繕料は225万1,076円で、尾鷲中学校浄化槽修繕ほか、各学校の施設設備修繕等でございます。

次に、11節役務費は、支出済額268万4,521円で、各学校での通信運搬費33万1,836円、浄化槽保守点検等手数料174万5,900円が主なものでございます。

322、323ページを御覧ください。

次に、12節委託料は、支出済額317万3,220円で、生徒心臓検診委託料16万8,740円ほか、各種委託料でございます。

324、325ページを御覧ください。

次に、13節使用料及び賃借料は、支出済額67万1,545円で、複合機使用料39万1,962円ほか、各使用料等でございます。

次に、14節工事請負費、支出済額3,482万8,200円は、尾鷲中学校のトイレ洋式化改修工事分でございます。不用額116万3,800円は、入札差金によるものでございます。

次に、15節原材料費は、支出済額14万2,289円で、グラウンド整備用の山砂代でございます。

次に、17節備品購入費は、支出済額139万8,260円で、各中学校の図書購入や生徒用机・椅子購入費でございます。

次に、18節負担金、補助及び交付金は、支出済額54万352円、不用額は115万2,648円で、不用額の主な理由といたしましては、新型コロナウイルスの影響により、中学校部活動の選手派遣費補助金が見込みを下回ったことによるものでございます。

主な支出につきましては、郡市中学校体育連盟負担金19万320円、次ページの選手派遣補助金23万2,906円でございます。

次に、2目教育振興費でございます。予算現額761万7,000円に対し、支出済額は695万1,735円で、不用額は66万5,265円でございます。

10節需用費は、支出済額104万15円で、中学校2校におけるクラブ活動や、先ほどのふるさと教育支援事業、子どもの学びと育ち育成支援事業に係る消耗品費でございます。

次に、19節扶助費は、支出済額590万500円で、支出の内容は就学援助費用で、学用品費、給食費、特別支援教育就学奨励費でございます。認定生徒の内訳は、要保護が2名、準要保護が91名、特別支援が5名分でございます。

次に、4項幼稚園費、1目幼稚園費でございます。予算現額2,507万2,000円に対し、支出済額は2,453万4,239円で、不用額は53万7,761円でございます。

主な支出につきましては、1節報酬は、支出済額221万8,448円で、園医報酬及び薬剤師報酬と会計年度任用職員1名分の報酬でございます。

10節需用費は、支出済額59万270円で、コピー用紙、事務用品などの消耗品費46万8,148円が主なものでございます。

次に、12節委託料は、支出済額11万674円で、先ほどの子どもの学びと育ち育成支援事業に係る人形劇委託料9万4,900円等でございます。

次に、19節負担金、補助及び交付金は、支出済額8万9,040円で、主なものにつきましては、次ページの紀北ブロック乳幼児教育推進協議会負担金5万円等でございます。

あと、資料といたしまして、教育委員会会計年度任用職員の人件費についてを添付しておりますので、後ほど御参照ください。

以上で、教育総務課に関する決算の説明とさせていただきます。

○村田委員長 続いて、生涯学習。

○平山生涯学習課長 生涯学習課でございます。よろしく申し上げます。

議案第51号、令和3年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、生涯学習課に関する決算について、決算書を基に主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。

決算書の330、331ページを御覧ください。

9款教育費、5項社会教育費、1目社会教育総務費でございます。予算現額4,146万8,000円に対し、支出済額は4,064万1,858円で、繰越明許費33万3,000円は、令和2年度より延期となった第63回尾鷲市成人式に係る需用費や会場使用料等で、不用額は82万6,142円でございます。

人件費につきましては、総務課より説明が行われておりますので割愛させていただきます。

まず、支出の主なものにつきましては、次ページの332、333ページをおめくりいただき、7節報償費93万769円で、このうち72万6,400円は、放課後子ども教室推進事業、「いきいき尾鷲っ子」のコーディネーターや講師等に係る報償費で、記念品代他は、第64回成人式記念品でございます。不用額54万1,231円は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策により中止となった講座の

講師謝金や活動サポーターへの謝金などが主なものであります。

13節使用料及び賃借料61万1,316円のうち、文化会館使用料45万8,280円は、成人式の開催に係るもので、第63回及び第64回の2回分の使用料でございます。

18節の負担金、補助及び交付金の4万8,691円のうち、備考欄の一番下に記載の尾鷲市成人式延期に伴う衣装賃借キャンセル料金等の補助金につきましては、1件の1万6,000円の交付となりました。

それでは、地域人材を生かした子育てHAPPY事業及び放課後子ども教室推進事業につきまして、主要施策の成果及び実績報告書で課長補佐より説明させていただきます。

○丸田生涯学習課長補佐兼係長      それでは、96ページを御覧ください。通知いたします。

地域人材を生かした子育てHAPPY事業について御説明いたします。

本事業は、地域の子供支援、子育て支援に関わる団体や事業者等と連携し、本市ならではの特色を生かした地域ぐるみの子育て支援として、子育て世帯が親子で楽しめるイベント、子育てHAPPY DAYを開催するものです。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により夏休みホラーナイトが中止となったため、2回のイベントを開催し、本読み子育ての取組、青空図書館に429名、お仕事体験HAPPYワークに204名の参加がありました。

事業費は7万2,000円で、財源内訳は、国庫支出金として、地方創生推進交付金が3万6,000円、一般財源は3万6,000円となっております。

続きまして、98ページを御覧ください。

放課後子ども教室推進事業について御説明いたします。

本事業は、放課後等における子供たちの安全で健やかな居場所づくりを進めるとともに、本市の自然や文化に触れながら様々な講座を実施することにより、学校外での学習を深める機会を創出し、子供たちの自ら考える力、豊かな心を育てるものでございます。

事業内容としましては、企画運営に当たるコーディネーターを配置し、小学生を対象に土曜日や夏休みなどに地域の方々が講師となり、自然・文化体験や工作など、様々な講座を実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響により3学期の講座は中止となりましたが、計25講座、42回開催し、620人の子供たちが参加いたしました。

事業費は99万9,000円で、財源内訳は、県支出金として、放課後子ども教室推進事業補助金が66万6,000円、一般財源は33万3,000円でございます。

説明は以上でございます。

○平山生涯学習課長      それでは、決算書の334、335ページにお戻りください。

2目の公民館費でございます。予算現額2,416万1,000円に対しまして、支出済額が2,292万4,851円、不用額は123万6,149円でございます。支出の主なものといたしましては、7節報償費18万5,000円で、公民館講座に係る講師謝礼でございます。

10節需用費855万6,313円のうち、中央公民館等の光熱水費が553万7,034円、修繕料263万4,960円は、中央公民館1階事務室及び2階図書館系統の空調機の修繕や消火栓ポンプ配管修繕などの修繕料でございます。不用額58万5,687円は、新型コロナウイルス感染症対策による貸し館日数の減少により、中央公民館等の光熱水費が見込みより少なかったことによるものでございます。

次のページ、336、337ページにお移りいただき、12節委託料490万9,520円は、清掃や警備、設備の各種点検等に伴う委託料でございます。

次のページ、338、339ページを御覧ください。

17節備品購入費24万5,278円は、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用したITインフラ整備に係るプロジェクター等の備品購入費でございます。

続きまして、3目天文科学館費でございます。予算現額501万円に対しまして、支出済額447万9,807円、不用額は53万193円でございます。

支出の主なものといたしましては、12節委託料65万672円は、天体望遠鏡保守点検業務委託料などでございます。

次に、4目図書館費でございます。予算現額2,484万5,000円に対しまして、支出済額が2,467万9,055円で、不用額は16万5,945円でございます。

少し飛びまして、342、343ページを御覧ください。

支出の主なものといたしましては、13節使用料及び賃借料159万7,672円のうち、図書館システム使用料が128万4,360円でございます。

次に、17節備品購入費259万7,113円は、こちらは1,525冊分の図書購入費でございます。

それでは、図書館管理運営事業につきまして、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。

○浜口生涯学習課係長（館長）      それでは、101ページを御覧ください。通知いたします。

図書館管理運営事業について御説明いたします。

本事業は、暮らしの中の図書館として、市民に役立ち、市民が心豊かな生活を送れるよう、資料の収集、提供、保存を行うほか、おはなし会や幼稚園、保育園等への絵本の貸出し、地域への団体貸出しを行っています。昨年度の貸出し冊数5万7,611冊、貸出し人数1万2,551人、インターネットからの予約1,349件。昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響によりおはなし会を中止した月もありましたが、乳幼児向けのおはなし会を46回開催し、延べ575人の参加がありました。親子で読書に親しむ機会を提供するとともに、チラシを作成し、保護者に対して家庭での読書の取組の大切さを啓発いたしました。小中学生に対しては、手作り絵本教室、子供読書会、ブックトーク、図書館見学の受入れを行い、延べ250人の参加があり、子供の読書への興味関心を高めました。

また、地域へは地区コミュニティーセンターと連携して定期的に図書を巡回配本し、図書館利用が不便な方に対する貸出しサービスの充実を図りました。

事業費は516万6,000円で、財源内訳につきましては、図書館コピーサービス料1万1,000円、ふるさと応援基金繰入金259万7,000円、一般財源255万8,000円でございます。

説明は以上でございます。

○平山生涯学習課長      決算書の342、343ページにお戻りください。

5目文化財保護費でございます。予算現額は238万7,000円に対しまして、支出済額132万5,318円で、不用額は106万1,682円でございます。

不用額の主なものといたしましては、21節の補償、補填及び賠償金の59万5,750円になります。こちらは、熊野古道周辺の森林整備業者に対する熊野古道歩行者の安全確保のために要する際の経費の補填費でございますが、その支給の見込みが下回ったためでございます。

それでは、支出の主なものといたしましては、10節需用費51万7,610円のうち、修繕料48万8,400円は、熊野古道の八鬼山の路肩路面修繕及び三木

里あずまやの腰壁の修繕料、344、345ページに移っていただきまして、21節補償、補填及び賠償金40万4,250円は、熊野古道周辺の森林作業者に対する熊野古道歩行者の安全確保のために要する際の経費の補填費につきまして、こちらは1事業者に支給したもので、八鬼山道での森林作業32日間における交通誘導警備員の配置に係るものでございます。

次に、6目郷土室費でございます。予算現額725万6,000円に対しまして、支出済額が692万5,891円で、不用額33万109円でございます。

支出の主なものとしたしましては、12節委託料114万9,500円は、尾鷲大庄屋文書等の貴重な文書や文化財を害虫から守るための薫蒸作業の委託料でございます。

続きまして、7目少年センター費でございます。予算現額481万5,000円に対しまして、支出済額が446万7,809円で、不用額34万7,191円でございます。

次ページの346、347ページを御覧ください。

支出の主なものとしたしましては、18節負担金、補助及び交付金42万2,751円は、尾鷲市少年指導員の会への青少年非行防止活動事業補助金と青少年育成町民会議6団体への青少年育成地域活動事業補助金、地域間交流活動推進事業補助金は、尾鷲市青少年育成市民会議への補助金となっております。これらの関係機関と連携した啓発活動の取組や少年センター職員等によるパトロール巡回事業などを実施しております。

続きまして、8目文化会館費でございます。予算現額5,101万9,000円に対しまして、支出済額5,080万5,000円で、不用額は21万4,000円でございます。

支出の主なものとしたしましては、10節需用費、修繕料308万6,300円で、こちらは、小ホール温度調節計取替え修繕及び冷却チラー防災垂れ壁の修繕料等でございます。

12節委託料4,768万3,500円は、2年ごとに実施する特定建築物定期調査報告業務委託料22万5,500円と、公益財団法人尾鷲文化振興会に委託している市民文化会館の指定管理料4,745万8,000円でございます。

続きまして、9款教育費、6項保健体育費、1目保健体育総務費でございます。予算現額6,009万7,000円に対しまして、支出済額5,625万1,371円で、不用額384万5,629円でございます。

少し飛びまして、350、351ページを御覧ください。

不用額の主なものといたしましては、18節負担金、補助及び交付金214万5,189円は、新型コロナウイルス感染症対策のための青年スポーツ活動事業や三重スポーツフェスティバルなどの大会等が中止になったことや、あと、他市町の公営プール利用補助金が見込みを下回ったことなどによるものでございます。

次、支出の主なものといたしましては、12節委託料44万2,746円は、尾鷲市スポーツ協会への美し国三重市町対抗駅伝参加事業委託料であります。昨年度の美し国駅伝につきましても、一昨年と同様に実行委員会において選手団が選出され、練習会などを行うなど準備を進め、ユニフォームや健康診断費、保険料等の予算の一部を執行しておりましたが、直前に大会が中止になったことから、25万7,254円の不用額となっております。

次に、18節負担金、補助及び交付金372万3,811円の主なものは、補助金のうち、成年スポーツ活動事業補助金は尾鷲市スポーツ協会、少年スポーツ活動事業補助金は尾鷲市スポーツ少年団への活動補助金でございます。

他市町公営プール利用補助金は、紀北町、大紀町、熊野市にある市民プール等の利用者に対する補助金であり、昨年度は延べ1,209人、9,145件の利用がございました。

なお、昨年度、紀北健康センターが新型コロナウイルス感染症の影響で8月下旬から9月末、あと、1月下旬から2月末の2回ほど休館となり施設利用ができなかったことなどから、年間利用実績が大きく下回りました令和2年度より3割弱ほど増加したような結果となりました。

続きまして、2目運動場管理費でございます。予算現額は、468万2,000円に対しまして、支出済額443万4,671円で、不用額は24万7,329円でございます。

支出の主なものといたしましては、次ページの352、353ページ記載の12節委託料220万円は、野球場と市営グラウンドの施設管理や除草、トイレなどの管理委託料でございます。

次に、3目体育文化会館管理費でございます。予算現額760万6,000円に対しまして、支出済額689万127円で、不用額は71万5,873円でございます。

不用額の主なものといたしましては、10節需用費30万2,263円は、体育館の光熱水費が見込みより下回ったことによるもので、12節委託料28万1,6

10円は、体育館で休日に開催される予定であった大会等が感染症対策のため中止になったことに伴い、警備業務委託料が見込みを下回ったことなどによるものであります。

次に、支出の主なものといたしましては、10節需用費367万5,737円は、体育館の光熱水費及び体育館防火ドアなどの修繕料でございます。

12節委託料259万9,390円は、警備清掃業務委託料が主なものであります。

次ページ、354、355ページを御覧ください。

4目国民体育大会関連経費でございます。予算現額1,393万2,000円に對しまして、支出済額1,374万1,850円で、不用額は19万150円でございます。

支出の主なものといたしましては、18節の負担金、補助及び交付金1,366万8,881円は、三重とこわか国体尾鷲市実行委員会負担金でございます。実行委員会では昨年、7月25日にオープンウォータースイミング三重オープン2021尾鷲兼三重とこわか国体のオープンウォータースイミングリハーサル大会を無観客で開催しまして、第76回国民体育大会の三重とこわか国体の開催に向けて直前まで準備のほうを進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となりました。本負担金につきましては、主に国体実行委員会に係る事務経費や本大会及びリハーサル大会の大会準備経費と無観客で開催されましたリハーサル大会などに充当されております。

内容につきましては、主要施策の成果及び実績報告で御説明いたします。

○中世古生涯学習課主幹兼係長 主要施策の成果及び実績報告書107ページを御覧ください。

三重とこわか国体で本市にて開催される予定であった正式競技及びデモンストラーション競技の普及・振興を行い、円滑な開催のため、国体実行委員会の運営を行いました。オープンウォータースイミングについては、リハーサル大会を無観客で開催しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により国体が中止となりました。デモンストラーションスポーツであるウォーキング、クッブ、ユニカールについては、プログラムの作成等、開催に向け準備を行い、また、審判講習会の実施等により普及・振興を図りましたが、全て中止となりました。決算額は1,374万2,000円、財源内訳は、県支出金887万円、一般財源4,872万円であります。

説明は以上でございます。

○平山生涯学習課長 以上で、生涯学習課に係る関する決算の説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○村田委員長 教育委員会に係る教育総務課、生涯学習課の説明が終わりましたがけれども、これについて御質疑がございましたら御発言願います。

○中村委員 307ページのスクールバスの利用人数を教えてくださいたいんですけれども。

○平山生涯学習課長 賀田小学校と輪内中学校、賀田小学校の児童が31名、輪内中学校の生徒が28名、合わせて58名の生徒が在籍しております。そのうち約50名ほどの児童・生徒がバスに乗って通学をしております。

○中村委員 319ページの船の借上料が入っているんですけれども、この説明がちょっと分からなかったのも、ごめんなさい、もう一度お願いします。

○高田教育総務課調整監 これは、ふるさと教育支援事業の中で、賀田小学校が行った三木里海岸で行われるカヤック体験ですね、これの借上料になります。

○仲委員 決算書の306から307、300もそうなんですけど、実績報告書の魅力ある学校づくり推進事業、英語教育の件でちょっとお尋ねいたします。

事業の目的が書かれておいて、内容が三重大学との共同研究に9年間を通じた英語教育を充実させカリキュラムを開発するとなっておるんですけど、9年間ずっと、以前の教育長からのスタートだと思うんですけど、今、中学校の3年生は何年間目になるのかな、これ。

○高田教育総務課調整監 この事業が始まったのが4年前になりますので、計算しますと、小学校6年生のときに始まった事業になりますね。

○仲委員 9年間というと、多分小学校6年間と中学校3年間で9年間と。中学校3年のときにどれぐらいの英語教育が上がったかというようなことも含まれると思うんですけれども、もちろん教師とのあれもあるんですけど、独自のカリキュラムというと、まだこれはできていないですね。

○高田教育総務課調整監 独自のカリキュラムについては、一応完成ということになっております。続けてよろしいですか。

文科省が定めている教科書に加えて、三重大東紀州サテライトの大野准教授より推薦された教材を使って、小学校1年生から独自のプログラムで指導を続けております。それを基に今回CAN-DOリストというものを作成して、それを一応9年間のカリキュラムというふうにさせていただいております。

○仲委員 よく分かりました。ということは、各小学校、例えば宮ノ上、尾鷲小、

矢浜小、向井小ともそのカリキュラムを通じてもう既にやっていると。そして、A L Tとの絡みもあると思うんですけど、そこらはどのようにやっていますか。

○高田教育総務課調整監　この事業に関しては、三木小、三木里小、賀田小を合併したときに、魅力ある学校の目玉として始めた事業です。なので、この事業の9年間のカリキュラムについては、賀田小、宮ノ上小に当てはまる事業となっています。

ただ、ここで研究した内容については、市内の小学校、中学校のほうにはしっかり還流をさせていただいて、使える部分については使っていただいております。

○仲委員　ぜひ、せっかく9年間を通じてということですから、各学校でも使えるものは使っていただきたいんですけど。今後もこれを続けますね。僕、ずっと見ておったんですけど、報償費の講師謝礼、1万円、307ページの動画作成手数料が6万円なんですよ。それから、その下に英語教育共同研究委託料12万750円と。あまりにも報償が安すぎるんじゃないかと。ぜひ来年度はもっと意欲ある三重大の共同研究になるように財政のほうへ要求していただいたらいいんじゃないかと思うんですけど、いかがですか。

○出口教育長　ありがとうございます。

確かに報償費が少ないということは、これは見ていただいたとおりなんですけれども、ただ、やはりコロナの影響もあって、なかなか講師招聘ということもままならぬ状況もありましたので少なくなっているということがあるんですけど、この魅力ある学校づくりの英語教育だけに限らず、これからは地域と一緒に学習をする、あるいはほかからも来ていただいてということもございますので、報償費については、うちのほうでもよく検討していきたいというふうに思います。

○村田委員長　これについて、調整監、特に御意見ありますか。

○高田教育総務課調整監　この事業、去年で3年目となりまして、1年目、2年目で大分土台ができていました。昨年度も一応講師招聘を予定していたんですけど、コロナの関係でできなかったということもありますが、ただ、小学校も中学校も軌道には乗っていますので、改めて講師を招聘しなくても大丈夫だったかなというふうな感想を持っています。

○中里委員　今の仲委員の質問にちょっと追加なんですけれども、CAN-D Oリストというのをちょっと詳しく聞きたいんですけど、どんな感じのリストなのでしょう。

○高田教育総務課調整監　CAN-D Oリストというのは、学習の到達目標を

何々することができるの形で指標化し、英語を使って具体的に何ができるかということ  
を明確化しようというものです。英語の技能は、話すこと、聞くこと、書くこ  
と、読むことの四つに分けることができますが、それぞれの技能において、各  
学年の修了時に何ができるようになっていくかということ想定してCAN-DO  
リストを作成します。具体的に申しますと、例えばある小学校のある学年の聞くこ  
とではこういうふうにあります。ゆっくりはっきり話されれば4文程度の簡単なス  
ピーチを聞き、その内容を理解することができる。このような到達目標を設定しま  
す。児童がその学年の終わりにはこのことができるようになるよう、指導者は指導  
内容・方法を工夫しながら英語教育を進めていくと。このような仕組みのものです。

○中里委員 次に、主要施策の95ページの事業成果、各学校においてQU調査  
をとるところからなんですけれども、PDCAサイクルを意識した学級経営に役  
立てることができたということなんですけれども、この内容をもうちょっと詳しく  
聞きたいんですけれども。

○高田教育総務課調整監 QU調査については、学級満足度調査という子供に対  
する質問紙調査になっております。この調査で何が分かるかということ、子供の学級  
での満足度、あと、侵害行為、いわゆるからかわれたりとかいじめられたりとか、  
そういった行為がないかどうか。また、クラスメートからの承認感、学級での認め  
られ感、困難の度合いはどうかということ分かるということになっています。  
これらのデータを基に、各学年分、また、学級担任が学級経営の手がかりとしてお  
ります。

○中里委員 分かりました。子供に対するQU調査ということで、各先生たちには  
これはないということですかね。

○高田教育総務課調整監 これは子供たちに質問紙調査するんですけれども、そ  
の結果が教師に渡されるので、教師がそのデータを基に学級経営のプランを立てて  
いくという流れになります。

○中里委員 分かりました。

これと別に先生に対するQU調査みたいのというのはないですかね。

○高田教育総務課調整監 それはございません。

○西川委員 ちょっと教えてください。337ページの中段なんですけど、特定  
建築物定期調査報告業務委託ってあるんですけど、これはどこのことを言ってお  
るんですか。

○平山生涯学習課長 こちらは、中央公民館の建物のほう。

- 西川委員 中央公民館は特定建築物になりますか。
- 平山生涯学習課長 一応公民館も特定建築物として対象となっております。
- 西川委員 分かりました。ちょっと調べさせていただきます。
- 濱中副委員長 ばくっと全体の大きな話なんですけれども、子供たちに対する学習活動点検であったりとか主要施策の成果であったりとかというのはある程度、令和3年度の部分は理解したつもりなんですけれども、令和2年度にタブレット、I Tの整備をして、結構そういったネット環境を充実させたように思うんですけれども、そんな中で、子供と向き合う時間を少しでも増やすためには、先生の働き方改革という辺りがどうなっておるのかというのがちょっと見えてきていないなど、この点検の中でもないなど。各学校の先生は県費による先生たちなのでその辺りが出てこないのか、尾鷲市の教育の取組として、そういったI Tが採用されたことによって先生たちの時間がどういうふうにも有意義に使われるようになったか辺りの成果が去年に関してはちょっと聞きたいかなと思うんですけれども、その辺り、いかがですか。教育長でも調整監でも感じることを教えていただきたいんですけど。
- 高田教育総務課調整監 まだその辺の調査とかデータを取ってないんですけれども、ただ、例えばI C Tの活用に関して言えば、朝の打合せと、当初であればみんな集合して時間を取ってやっていたんですけれども、I C Tで連絡事項は各自で確認してくださいとか、そのようなこと。あと、やはり先生の教材準備なんかも、本来であればプリントを作成したりとかするようなところを印刷したりとか、そのような業務があったのをI C Tに取って代わるということで、そのようなことでも短縮はされているとは思っています。あと、僕も調べていないんですが、幾つかI C Tの活用において、先生たちの勤務時間は縮減されていると思います。また調べておきます。
- 濱中副委員長 恐らく働き方改革は働く方自身のためということももちろんあるとは思いますが、先生に時間外の余裕ができることによって子供たちと向き合うところの余裕ができるのかなということを想像しておりました。やはりこれだけのコロナ禍で拍車がかかってすごくスピードアップしてタブレットなどの導入も進んだとは思いますが、そんな中で、やはりこうやって整備したものがどうやって子供たちのために活かされてきているのかという辺りは、こういう点検の中で書き表わしていただけると、そういったハード整備であるとか、こういったものがインフラであるというふうにも言われている時代ですので、その辺りをぜひまた御報告の中で詳しくお聞きできるようにお願いしたいと思います。よろしく

お願いします。

○出口教育長　　今の調整監の回答で少し補足をさせていただきますと、学校もICT化を進めていくということで、例えば、これまで出勤退校の管理があまりされていなかったというところで、今はカードでもってパソコンを使って自動的に時間計算ができるようなこと、そういうふうなことができるようになりまして、その中で、どの先生がどれぐらい長く仕事をされているのかというようなこともつかめるようになりまして、校長の指導の下でそれはやっていく。あるいは、これはしばらく前からですが、これまで手書きでやっていた指導（聴取不能）とかいろんな書類につきましては、かなりコンピューターを使ってできるような状況にもう既になっておりますし、そして、教育委員会と学校の先生、あるいは学校とか、もうインターネットで全てつながっておりますので、そういった事務処理もかなり速やかにできるような状況になったということでございます。

ただ、働き方改革の一番のネックは、特に中学校ではやっぱり部活動がその部分を占めておりますので、その改革を何とかこれから進めていく必要があるんだろう。これは、国も県も何とかこれはする必要があるということで、今現在、例えば土日の部活動の地域移行とか、そういったものを今検討中でございますので、これについては、この管内でも考えていく必要があるんだろうというふうに思っています。

○濱中副委員長　　決算から外れるかなと思ってその部分は入れなかったんですけども、せっかくこの際教育長のほうから発言していただいたので、部活動の外部登用の指導員の辺りの話やと思うんですけども、都会と違って大学がありませんし、プロのアスリートが身近にいないという辺りで、恐らく指導員の優秀な方たちが集めにくい地域であるのかなというのは、保護者のほうからもそういった声を聞いておりますけれども、その辺りはどんどん考えていただいて進めていただけると、せっかくの持っている能力を十分に生かせる環境をつくるというも学校の教育の中での責務の一つかなと思っておりますので、どうかその辺り、強力に進めていただければなと思います。お願いします。

○出口教育長　　今副委員長が言われましたように、確かに人材という点でかなり都会とは比べものにならないという状況もございますが、ただ、スポーツ少年団とか、そういった辺りで指導されている方もおりますので、これからそういう方ともいろいろ相談をさせていただいて、何とかやれるところからやっていきたいというふうには思っているところです。

○村田委員長 他にございませんか。

この際、特に私からお聞きをしたいと思うんですけれども、教育長、決算の結果は今発表されたわけでありましてけれども、これについての評価は議員個々がすることでありましてけれども、教育長として、この決算を見て、教育全体についてどういふことを感じておられたか。また、今後どういふ抱負を持ってやっていこうとしておるのか、少しお考えをお聞きしたいと思います。

○出口教育長 教育予算につきましては、私は、特に学校教育の部分で言えば、やっぱり学校がその予算の下にいろんな事業が組めて、そして学校が活躍できる、そういうところであるというふうに考えております。私が以前におりましたときよりもかなり事業数が大幅に減っています。ですので、最低限の、今、本当に骨組みだけの予算になっているような気がしておりますので、何とか学校が元気を出して、それこそ特徴のある学校になるような、そういうふうな予算組みができたらというふうに考えております。そんなところでよろしいでしょうか。

○村田委員長 ということは、今度は来年度の予算がまた10月、11月に始まってきますけれども、教育長としては、その辺の予算を潤沢にやっぱりつけていただくということなんですよ。

○出口教育長 ぜひそうしていただければありがたいというふうに思います。

それともう一つは、ちょっと今言わなかったんですが、学校教育の中で、今は学校と地域はかなり結びついていろんなことを取り組んでいただいておりますけれども、私は今、いわゆる市の取組の中で、例えばSDGsであるとか、エコの問題とか、林業、漁業をはじめとする産業の問題、そういったものと学校が連携しながら、何かうまく物事が運ばないか、今既に山育、川育辺りで水産のほうとも随分と協力いただいておりますけれども、ああいったことがほかの課のほうにもいろいろ一緒になってできることはないのかということをお考えしております。そういうベースになるものをつくっていく中で、もし予算措置が必要であればまたお願いをすることも出てくるんじゃないかというふうに思っております。

○村田委員長 教育の第一人者として取組姿勢をちょっとお聞きしたかったのであえてお聞きをしたんですけれども、今後も尾鷲市の教育の充実のためにさらに策を尽くしていくと、そういう心がけだということなんですよ、そうですね。

○出口教育長 はい。

○村田委員長 分かりました。

他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○村田委員長　それでは、これで教育委員会の審査を終わります。

これで本日の審査を終了いたします。明日また10時からよろしくお願いをいたします。

(午後 2時51分 閉会)